



MIYAGI
UNIVERSITY

宮城大学
大学案内 2019





CONTENTS

基本理念・沿革	03	地域連携の取組み	15	事業構想学群	29
学長メッセージ	05	フレッシュマンコア	17	●事業プランニング学類	31
卒業生インタビュー		宮城大学学群INDEX	21	●地域創生学類	33
●看護学部	07	看護学群	23	●価値創造デザイン学類	35
●事業構想学部	09	●看護学類	25	●学びへの誘い	37
●食産業学部	11	●学びへの誘い	27	●キャリア支援と進路データ	38
STUDENT'S VOICE	13	●キャリア支援と進路データ	28		

未来へ向けて、自分を育て、
そして萌芽する。



食産業学群	39
● 食資源開発学類	41
● フードマネジメント学類	43
● 学びへの誘い	45
● キャリア支援と進路データ	46
国際交流	47
キャリアサポート	49
学生支援	51

大和キャンパス紹介	53
太白キャンパス紹介	55
ライフスタイル	
● 大和キャンパス/実家暮らしの場合	57
● 大和キャンパス/ひとり暮らしの場合	58
● 太白キャンパス/ひとり暮らしの場合	59
ラーニング・コモンズの紹介	60

キャンパスカレンダー	61
学群・学類での学び	63
入試制度	64
学生数/ 出身校所在地別志願者数/ 入学者数・学納金・奨学金	65
アクセス・ オープンキャンパスのお知らせ	66

基本理念

Fundamental Principles

宮城大学は、ホスピタリティ精神とアメニティ感覚に溢れ、高度な専門性と実践的能力を身につけ、地域の発展をリードし、世界に貢献できる人材を育成するとともに、学術・文化の向上と豊かで活力のある地域社会の形成に寄与することを建学の理念に掲げています。これをふまえて、次のような「宮城大学の理念」を定めています。

SPIRITS

精神

教育・研究・社会貢献を貫く
本学の精神

ホスピタリティ
人への温かい思いやり



アメニティ
快い生活環境

ホスピタリティ精神と
アメニティ感覚に溢れる
人間と社会の形成

MISSIONS

使命

教育・研究・社会貢献を貫く
本学の使命・目的

教育
高度な実学を身につけた
実践的人材の養成

研究
社会のニーズに応える
実学の研究

社会貢献
地域に密着した
連携活動

高度な実学による
地域貢献

POLICIES

方針

教育・研究・社会貢献を貫く
本学の方針

地域
地域の学術・文化・経済・
健康に寄与する大学

社会
社会に開かれた大学

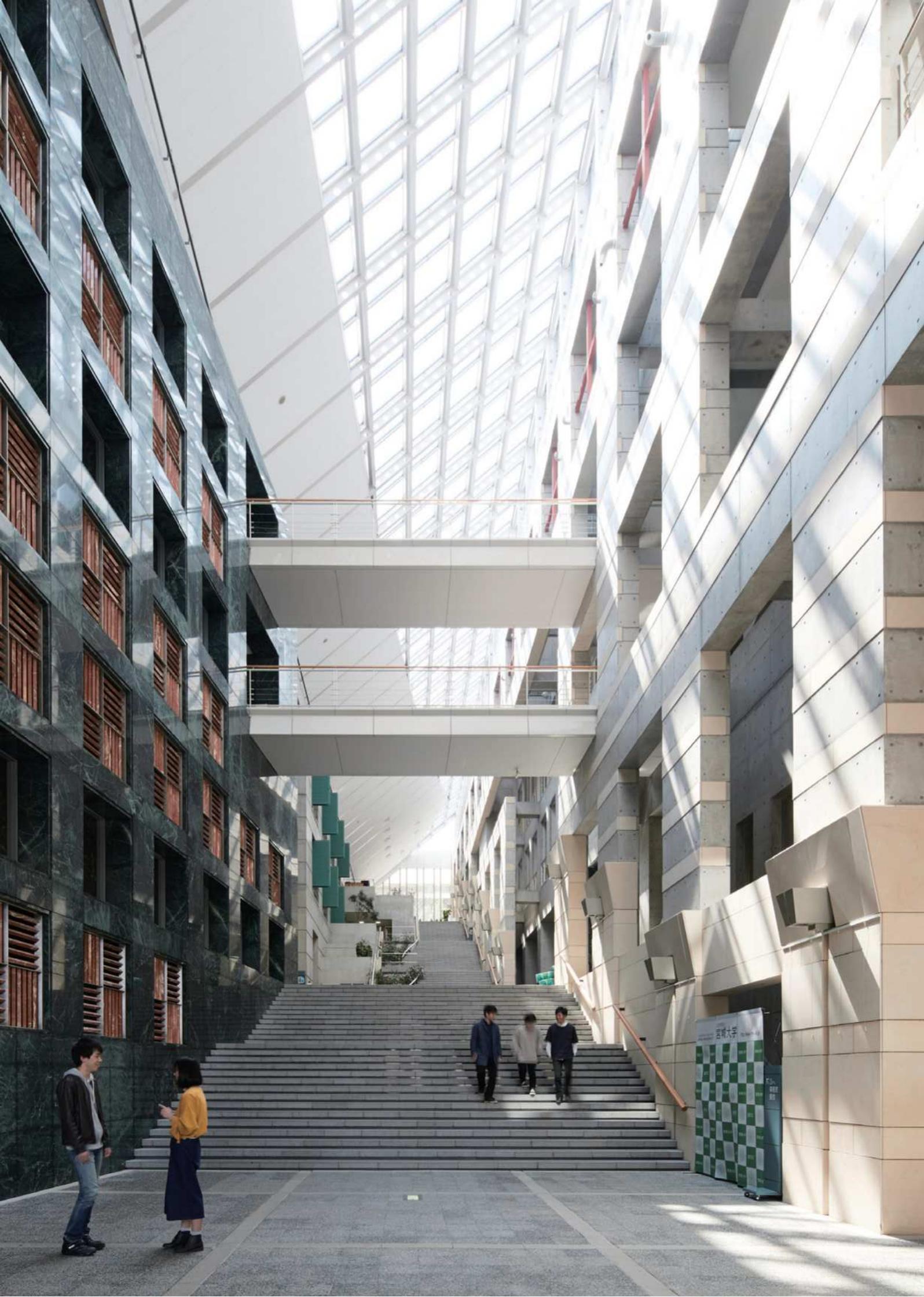
世界
世界に開かれた大学

地域に根ざし
世界に開かれた大学

沿革

History

- 平成5年 4月 宮城県企画部県立大学設置準備室設置
- 6月 宮城大学創設準備委員会設置
- 7月 宮城県総合計画の戦略的プロジェクトの一つとして、県立宮城大学の整備を明示
- 8年 12月 宮城大学条例制定／宮城大学設置認可
- 9年 4月 宮城大学開学[看護学部・事業構想学部]
- 13年 4月 宮城大学大学院(修士課程)設置[看護学研究科・事業構想学研究科]
宮城県農業短期大学4年制化基本構想検討委員会を設置
(宮城県農業短期大学創立は昭和27年)
- 17年 4月 宮城大学食産業学部設置
- 20年 4月 宮城大学大学院(博士課程)設置[事業構想学研究科]
- 21年 4月 公立大学法人宮城大学設立
宮城大学大学院(修士課程)設置[食産業学研究科]
- 22年 4月 宮城大学大学院(博士課程)設置[看護学研究科]
- 25年 4月 宮城大学大学院(博士課程)設置[食産業学研究科]
- 29年 4月 宮城大学学部改組により学群・学類制へ移行





理事長兼学長

川上 伸昭

Nobuaki Kawakami

宮城大学は2017年に創立20周年を迎え、新たな一步を踏み出しました。大学の歴史とともに社会の変化を振り返ると、開学から今日まで、私たちを取り巻く環境は大きく様変わりしています。さらに20年後、それより先の未来を想像したとき、社会はどのように変化しているのでしょうか。

人工知能(AI)や知能を備えたロボットが普及し、社会環境や労働環境が高度化・複雑化するこれからの社会では、生き抜いていくために求められる能力もこれまでとは異なってくるでしょう。そのような社会で必要とされ、活躍できる人材を育成するために、宮城大学は2017年から3つの柱で大学改革を行ってまいりました。

第一に、大学での学びの土台となる基盤教育を充実させました。必修科目群「フレッシュマンコア」を設け、少人数でのセミナー形式の授業等を通じて、豊かな人間性と学び続ける力を養います。

第二に、学部・学科制から学群・学類制に移行しました。これにより、学生は自身の目標や関心に応じて専門科目を柔軟に選択し、学修を深めていくことができます。

第三に、入試改革を行い、高等学校等での偏

りなく幅広く、継続した学習の成果を多面的に評価する内容としました。AO入試の導入や推薦入試・一般選抜の見直しにより、多様な学生が集い、他者とのかかわりあいの中で切磋琢磨しながら学生生活を送っています。

さらに、2018年度からは、学生が自主的に学修に取り組めるよう環境を整備してまいります。大学での学修は、講義を聴くだけではなく、自ら、又は教員や他の学生とともに主体的・能動的に学ぶ姿勢が必要です。そのような学修を後押しするため、開放的な学びの空間「ラーニング・commons」を設け、講義や演習・実習にとられない学修の場を提供します。ラーニング・commonsには4つの機能別空間があり、そのうち、学生の学修・交流の場としての「スチューデントcommons」、留学生や日本人学生が集う活気に満ちた「グローバルcommons」の2つは、この4月から利用を開始しています。これら以外についても順次環境を整えていきますので、十分に活用していただき、宮城大学での自由闊達な学生生活の中で、自分自身の可能性を伸ばし、豊かな人生の土壌をつくっていただきたいと思います。

豊かな人生の土壌を培うために
宮城大学が果たす役割

学生一人ひとりが持つ 未来への可能性を 育むために。

フレッシュマンコア

全学共通の基盤教育必修科目群「フレッシュマンコア」では、大学での学びの作法を身につけ、生涯にわたって学び続ける力と主体的に考える力を養います。

詳しくは17ページ

学群・学類制での学び

学群単位の入試（一般選抜・推薦入試）による入学者は、学生一人ひとりが自分としっかり向き合いながら、自らが進む学類を担当教員と一緒に1年かけて考えていきます。入学後にじっくり考えて、自分が本当に進みたい道を決めることができます。

※看護学群は、学類が1つであるため、全ての入試区分で看護学類に配属されます。

詳しくは21ページから

高校から大学への架け橋となる入試

すべての選抜区分において、高校までの「偏りなく幅広く、継続した学習」の成果を評価します。特にAO入試では「課題を設定し、見通し、解決し、振り返る力」を評価します。

詳しくは64ページ



医療の分野に興味はありましたが、高校時代は、明確に何になりたいか決まっていたわけではありませんでした。宮城大学では、入学後に、看護師だけではなく、保健師や養護教諭の課程を選択できることを知り、入学を決意しました。

宮城大学で得たもので大きいと感じるのは、例えば看護計画を立てたときに、必ず先生にその根拠や目的意識を問われていたことです。「なぜそうしたか」や「なぜそうする必要があったのか」を考えて、その背景にあるものや理由を明確化させることが大切であると教わりました。

私は現在、南三陸町立志津川中学校の保健室に勤務しています。生徒の怪我や体調不良などへの対応はもちろんですが、仕事の中で一番大切にしているのは、心のケアです。生徒たちは思春期ならではの葛藤をたくさん抱えています。体調不良を理由に来室した生徒の背景に、心の問題が隠れていることもあります。話をしっかりと聴き、生徒の抱える問題に気付くこと、そしてそれをどうしていくのがいいのかを一緒に考えるようにしています。このとき、背景や根拠を考える重要性を教わった大学時代の学びが生きていて実感します。

今いる中学校という場所は、病気の患者さんを相手にするわけではないものの、大学時代の

実習で病院の患者さんとたくさん接した経験も強みになっていると感じます。精神看護学の授業で、精神科の患者さんと話す機会がありました。その会話の中で「今までも自分の話をもう少し聴いてくれる人がそばにいたらよかったな」と言葉をいただいたのが印象的です。話を聴くことが、アセスメントや患者さんの安心にもつながると実感しました。現在の職場でも、生徒が自分との関わりを通して元気を取り戻してくれたときは、やはり感慨深いものがあります。

宮城大学は、自分の進む道が見つけられる大学です。自分をしっかり見つめながら、見識の幅を拡げて、「これだ!」と思える道を拓いてほしいと思います。



佐藤 幸

Yuki Sato

南三陸町立志津川中学校 勤務
看護学部看護学科(2010年3月卒業)

私の仕事の基本は、
目の前にいる生徒の話をしっかりと聴くこと。
その大切さは、大学時代に教わりました。

様々な経験を積める実習体制と
実践さながらの「考える学修」が
今の私の土台になっています。

現在、大崎市民病院の救命救急集中治療室(EICU)に勤務しています。救急で運ばれて、呼吸器や心電図など全身管理が必要な患者さんを担当しています。常に万全の体制で、臨機応変に患者さんを迎えないといけない緊張感のある職場ですが、私の性格に合っていると実感しています。

大学では3年次に約半年間、様々な実習を経験します。多くの大学や専門学校では系列病院で実習することが多いのですが、宮城大学は様々な病院での実習を受けることができます。私は、多様な経験をしてから将来の方向性を決めたかったのでこうした実習は非常に魅力的でした。オープンキャンパスでこのような実習体制を知っ

たことが、進学決め手です。卒業後の進路選択では、自分に合った現在の職場を迷わず選択することができました。

大学の授業では、患者さんが直面している状態や問題を想定し、どうしたらいいかを常に自分で考えるように指導されました。最初は知識が乏しいので苦勞しましたが、次第に様々な可能性を想像し、その対処法を考え、自分の言葉で表現することができるようになりました。職場では毎日カンファレンスがあり、患者さんの状況を分かりやすく端的に伝達し、他の看護師と共有しなければなりません。まさに大学で学んできたことが、日々の業務に活かされています。

また、現場で感じるのは「基本の学びが大事」ということです。大学でフィジカルアセスメントに関する授業を受け、そこで問診や触診・聴診など、患者さんの体に触れながら、症状の把握や異常の早期発見を行う重要性を学びました。血圧も脈も、直接触れて診る基本があるからこそ、わずかな異常でも発見することができます。

現在5年目となり、職場では新人指導も担当しています。人に教えるのはとても難しく、勉強し直すこともあります。責任のある仕事であり、自分自身の成長にもつながることなので一生懸命取り組んでいきたいと思っています。

相澤 美穂

Miho Aizawa

大崎市民病院 救命救急集中治療室(EICU)勤務
看護学部看護学科[2014年3月卒業]





入学以前から、世界経済には興味がありました。宮城大学は経済や経営に関する科目が充実していたことや、「事業構想学部 事業計画学科」という名称にインパクトと新鮮な印象を受けたことを理由に、入学を志望しました。また、当時の大学案内パンフレットで大きく書かれてあった「実践的な学び」という一文にも魅力を感じました。実学を習得したかった自分にとっては、自然と宮城大学が第一志望の進学先となったのです。

3年次のゼミでは「商業開発ゼミ」を選択していました。中でも印象深かったのは、「世の中のことを知る」という目的で定期的な実施された「東京ツアー」です。トレンドや市場調査のために、東京スカイツリーや話題の飲食店などいろいろなスポットに行きました。例えば、激安居酒屋の均一価格戦略から、どんな経営哲学を読み取るか、ビジネスモデルとして成功の可能性はどれくらいあるのか、などを考えているときは、本当に楽しかったですね。経済や市場の動き、トレンドなどには常に敏感であるべきことを教わりました。

現在、野村証券株式会社仙台支店のリテール営業職として奮闘しています。私の役割はコンサルティングの要素が強く、お客様には、刻一刻と変化する経済の動きを読みながら、明確な

「利益」を創出するためのご提案をさせていただいています。業務を遂行するうえでは、大学時代に学んだ「世の中の動きに常に敏感であること」が非常に役立っています。

宮城大学の事業構想学群には、起業したり、大企業へ就職したりする学生が多く、個性で面白い人がたくさんいます。小さな大学だからこそ、そういった個性的な面白い人たちと交流しやすいというメリットもあります。私は、人生は自分次第で、自らの殻を破ってアクションを起こせば、必ずいい結果が生まれると信じています。宮城大学は、そのアクションにきちんと応えてくれる大学ですので、チャレンジ精神を忘れずに頑張ってください！



後藤 菜月

Natsuki Goto

野村証券株式会社 仙台支店 勤務
事業構想学部事業計画学科[2012年3月卒業]

世の中の動きに常に敏感であること。
宮城大学で学んだのは、
提案営業職として最も必要なことです。

初めて得られる気づきがある。
フィールド（現場）に出てみて、
修理技術者としての心構えを学びました。

後藤 沙紀
Saki Goto

公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 勤務
事業構想学部デザイン情報学科[2014年3月卒業]
大学院事業構想学研究科博士前期課程[2016年3月修了]

高校生のころから建築に関わる仕事がしたいと思っていました。進路について調べる中で、宮城大学には様々な面から建築にアプローチする授業があることを知り、志望の決め手となりました。

当時のデザイン情報学科には3つのコースがあり、分野は違えど「デザイン」という志を同じくする仲間達とともに学べたことはとても有意義で、多くの刺激を受けたことを覚えています。

宮城大学で印象に残っている授業は設計に関する演習です。3.6㎡の空間デザインに始まり、住宅、公共施設など、学びを深めながら対象の施設規模を拡大し、最終的には都市的な課題解決の提案に取り組みました。フィールドで観察したことや感じたことを情報化したうえで、それ



らを統合し、視覚的に表現する方法を学ぶことができました。フィールドに出てみて初めて得られる気づきがある、ということを実感しました。

現在は、社寺や民家などの文化財建造物の保存修理に係わる仕事をしています。建物を綿密に調査し、どこをどのように直すのか設計をしながら工事監理を行います。2017年11月より広島県尾道市で解体修理の現場に出ています。修理では建物から多くの痕跡が出てきます。昔使われていた釘穴や取付き痕、建立時の墨書き等々、それらをつぶさに調査し「建物の歴史」を明らかにしていきます。そしてどの時代の姿に修理するかを検討し、職人さんと一緒に工事を進めていきます。修理技術者として現場に出るからはまだ日が浅いものの「こういう意図で建物に手をいれたのか」「こんな工夫で直していたのか」と建物から当時の人の思いや息遣いを感じられるところが、この仕事の醍醐味でありとても大きな魅力だと感じています。

学生時代は勉強でも遊びでも、今、自分が取り組んでいることに全力投球してほしいです。何事も本気になってみることで、はじめて面白さが見えてくるからです。その面白さが、未来の自分をつくるうえでの原動力となっていくのだと思います。



卒業生Interview (食産業学部)



高校生のとき、東日本大震災を経験しました。物資の乏しい中、ようやく食べることでできた温かいご飯と味噌汁に感動し、食品の世界に興味を持ちました。進学先を選ぶとき、宮城大学には、生産・加工・流通といったフードチェーンの全体と、文系理系の両方の分野を学べる環境があることを知り、魅力を感じました。また、得意だった生物や経済についても、実習などを通してより深く学べると思い、志望に至りました。

大学生活では研究に熱心に取り組んだ思い出が忘れられません。私は、東日本大震災に関わるテーマで卒業研究に取り組み、福島第一原発事故の避難区域に残された動物について、免疫などを調査研究し論文にまとめました。その論文は評価されて学術誌に掲載されました。丁寧にご指導いただいた森本先生には、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

現在は日本食品分析センターに勤務しています。同センターは品質評価や安全性評価などのための試験の委託を受け、食品、医薬品、化粧品、飼料などの理化学試験、微生物試験、生物試験などを行っている第三者機関です。私は、試験結果を提出する際の成績書や報告書の発行、納期の管理などのほか、書類の発行関係や

試験の進捗状況などのお客様からのお問い合わせへの対応を担当しております。分析試験の担当部署を支援する立場として、実験実習や卒業研究、インターンシップで、多くの分析機器に触れてきた大学時代の経験が、様々な場面で役に立っています。

宮城大学は、研究をはじめ、のびのびと自分の好きなことに打ち込める大学だと思います。高校の授業よりも、深く専門的に学ぶので、難しいこともあります。その反面、知れば知るほど面白くなることは確かです。意欲があれば、必ず良い大学生活を送ることができると思います。

研究に打ち込むことができたのは、意欲に対してきちんと応えてくれる、そんな先生と出会えたからです。



加藤 彩佳

Ayaka Kato

一般財団法人日本食品分析センター 勤務
食産業学部ファームビジネス学科[2016年3月卒業]

両方の道を拓くことができました。

宮城大学での学びのおかげで、

研究者と企業人。

幼い頃からふとしたことに疑問を持ちやすい性格でした。「なぜ毎日ごはんを食べるの?」「どうして野菜は体に良いの?」といった食に関する疑問を調べているうちに、いつの間にか食べ物自体に興味を持つようになりました。高校生になり、進学先について調べていく中で、宮城大学では「魚はどうやって海から食卓まで運ばれるのか?」「これからどんな食べ物が流行るのか?」などの疑問についても体系的に学ぶことを知り、志望に至りました。入学後は、期待のとおり、生産加工から流通、サービスまで、食の全体について学ぶことができました。

現在は、マルハニチロ株式会社の研究所で食品の「健康」と「おいしさ」に関する研究開発を

行っています。宮城大学で専攻していた魚由来の機能性油脂に関する研究、官能評価による新商品開発支援や他社品分析といった業務をメインに、出張理科実験教室をはじめとするCSR活動にも携わっています。

学生時代に食に関わる様々な事柄を学べたことは、現在の仕事に非常に生きています。研究職の場合、科学に偏ると「商品をどう売るか、どうアピールするか」といった視点が欠けてしまいがちです。しかし、宮城大学で食品の機能性に関する専門知識をベースにマーケティングや経済についても学ぶことができたので、結果的に研究者の道だけでなく、企業人としての道も拓くことができ、可能性が広がったと感じています。今後の目標は、研究成果を消費者の皆様にも評価してもらい、日常生活レベルで活用されることに尽きます。

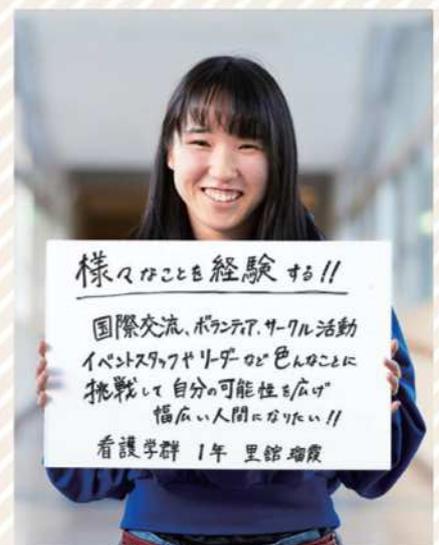
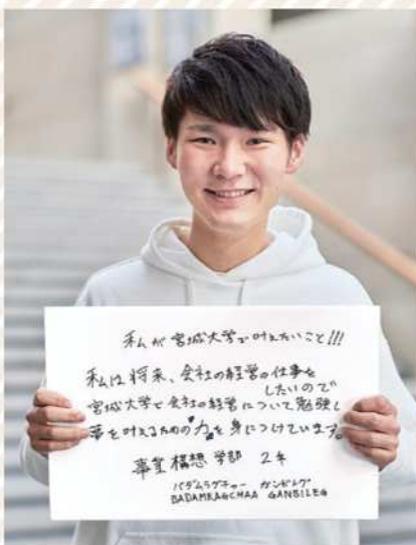
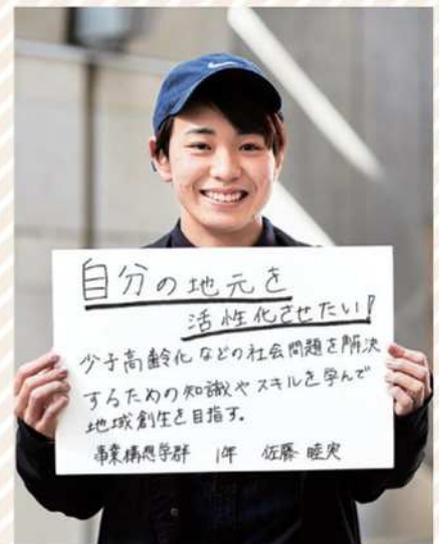
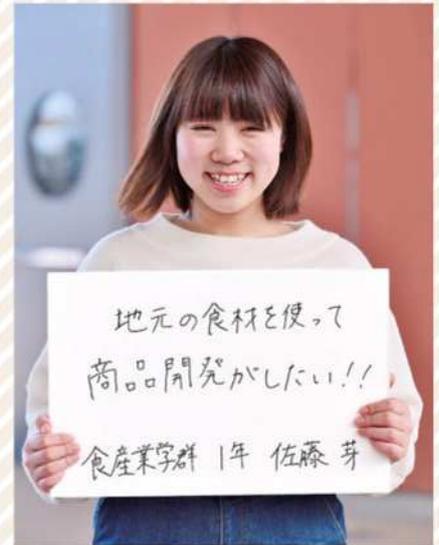
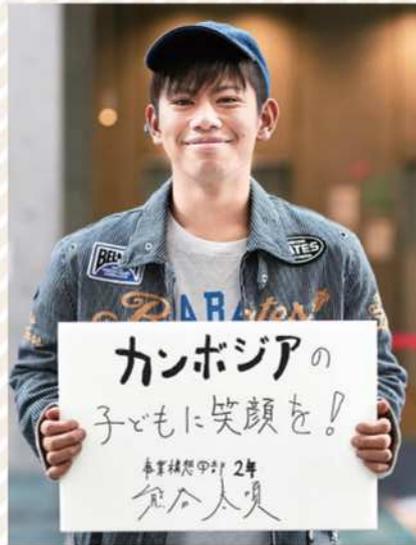
宮城大学は自分の好きなことや興味のあることを学び、体験ができる本当の意味での「良い」大学だと思います。進学先の選択には、大いに自分の気持ちや興味、夢を反映させてください。宮城大学食産業学群では、少しでも「食」に興味のある方ならば、きっといい学びができると思います。OBとして、エールを送ります。

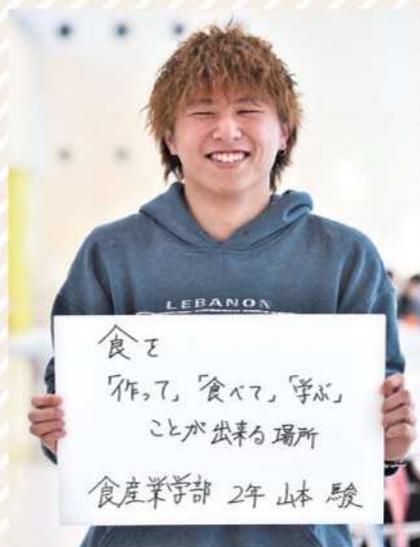
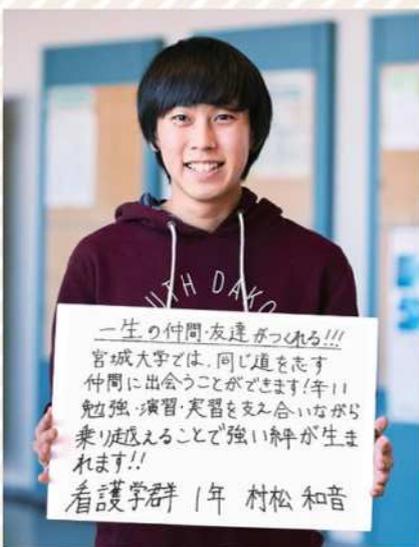
柿崎 裕介

Yusuke Kakizaki

マルハニチロ株式会社 中央研究所勤務
食産業学部フードビジネス学科[2012年3月卒業]
大学院食産業学研究科修士課程[2014年3月修了]







地域と共に歩む

東北独自の自然・文化的資源を生かして

新しい価値を探求・創造することで、地域の問題を解決し、
地域を持続的に発展させる力を培う

宮城大学では、自治体や企業・団体・医療機関等と連携し、キャンパス内の学びだけではなく、地域でのフィールドワークやアクティブラーニングによる教育を強化しています。

主要な連携先

(1)自治体

宮城県／仙台市泉区／気仙沼市／白石市／大崎市／蔵王町／加美町／美里町／南三陸町／大和町／利府町／角田市／富谷市

(2)公的機関・団体・企業など

宮城県教育委員会／宮城県中小企業団体中央会／株式会社ホットランド／宮城蔵王観光株式会社／日本政策金融公庫／仙台商工会議所／株式会社七十七銀行／宮城県食品産業協議会など



宮城大学 × 大和町

「シンボルタワー」

大和町のシンボルとして親しまれてきたシンボルタワーが、老朽化により解体され、大和町のPRという役割を継ぐ新たな施設の設置が期待されるなか、事業構想学部デザイン情報学科の3つの学生グループがそのデザインを提案しました。

大和町の浅野町長と学生・指導教員との意見交換会を経て提案された3つのデザイン案は、一般投票による町民の皆様のご意見も加味した上、選考委員会でプレゼンテーションを行い、下記のデザイン案が採用されました。

宮城大学 × 大崎市

「ひととき展」

大崎市と本学の連携協力事業として大崎市民ギャラリー「緒絶(をだえ)の館」を会場に、事業構想学部の学生グループが制作した、ひと(人)と、とき(時間)をテーマとする体験型メディアアート展「ひととき展」を開催しました。

展示された5つの作品は、どれも来場者に反応して音や映像が変化する体験型の作品となっており、小さなお子様からお年寄りの方まで幅広い世代の方楽しんでいただきました。



東日本大震災後、看護学部の学生が中心となり、女川町旭が丘地区の仮設住宅で暮らしていた方々を対象として、ボランティア活動を行ってきました。当初、住民の方々への健康支援が目的でしたが、血圧を測ったり体の調子を伺ったりする中での会話や、小物作りや創作踊りが得意な住民の方の生き生きした姿から、参加した学生たちはさまざまなことを学ぶことができた活動となりました。





全学群共通の基盤教育群必修科目「フレッシュマンコア」の科目の一つとして、1年次前期に「地域フィールドワーク」を開講しています。

座学やグループワークを通して地域協働学習の基礎を学ぶとともに、現地に足を運びフィールドワークを行います。地域でさまざまな人々や風土に接して調査することで地域の課題や魅力を発見し、「自分が地域社会でどのような役割を担えるか」を考えていきます。

平成29年度は、宮城大学と連携協定を結ぶ、大和町・富谷市・利府町・蔵王町の4つの自治体の協力のもとフィールドワークを行いました。看護学群・事業構想学群・食産業学群の学生総勢437名が、それぞれの視点から地域を捉え、フィールドワークによって得た気づきや学びをポスターにまとめ、訪問先の自治体職員や住民の方へ向けた報告会を行いました。

平成30年度もさらに連携を拡充し、6つの自治体をフィールドに開講します。



宮城大学 × 仙台ロイヤルパークホテル 「ロールティラミス」

宮城大学創立20周年記念事業の一環として、仙台ロイヤルパークホテルと本学の食産業学群の学生が協働し、食産業学群石川伸一教授が研究を進めている「料理の式」を応用して「ロールティラミス」と「ティラミス・ダ・フィニーレ」を開発しました。

開発においては、学生がメニューのアイデアを出して試作を行い、仙台ロイヤルパークホテルの野田シェフに改良を加えていただき、素晴らしい一品となりました。

出来上がった2品は宮城大学創立20周年記念レセプション会場で提供したほか、平成30年1月には仙台ロイヤルパークホテルで「ロールティラミス」が一般の方にも1か月限定メニューとして提供され、好評を得ました。



宮城大学 × 山内鮮魚店 × 及善蒲鉾店 「ほや鍋具材セット」

震災後の「ホヤ大量廃棄」を受け、ホヤの消費拡大と可能性を広げたいと製品開発に取り組む南三陸町の山内鮮魚店の想いに共感し、事業構想学部の学生と同町の及善蒲鉾店の三者が、鍋具材として利用できる「蒸しホヤだんご」と「揚げホヤだんご」を共同で開発しました。

さらに、それらを使った鍋のレシピ作りにも着手し、さまざまな試行錯誤と試食を重ね、ホヤの風味を存分に楽しめる、冬の「ほや鍋具材セット」が発売されました。



宮城大学の特色あるカリキュラム

フレッシュマンコア



自分の種を育て、発芽させ、
豊かな人生を送るために。
社会との関わりを
自覚していく上で必要な、
考え方の土台を学ぶ。

01

技法知

リテラシー

全ての基盤となる言語スキル、
数量スキル、情報スキルを
身につけます。

02

学問知

知識×考え方

基本的な
トレーニングを通して
思考力を高めます。

03

実践知

実践力

「自己理解」「他者理解」を
深めながら実践力を
養います。

フレッシュマンコアとは、1・2年次で学ぶ基盤教育の主要な科目群であり、

全学共通の基盤教育必修科目群です。

豊かな人生を送る上で必要な「技法知」「学問知」「実践知」を養います。

専門分野への学びに繋げていくだけに留まらず、

その先を見据え、自分の未来を切り拓いていくための指針を、

フレッシュマンコアを中核とする基盤教育を通して身につけていきます。

大学生としての 「考える習慣」と 「覚悟」を持つ

4年間は長いようで、あっという間に過ぎてしまいます。
4年後の成長した自分をイメージして
大学生活をスタートさせることが重要です。
そのためには、受験勉強とは違う
大学での学びの作法を身につけることと、
自分と社会を見つめることで自分の将来に見通しを持ち、
自身の大学での学びの意義づけを自ら行うことが必要です。
そのためにフレッシュマンコアがあります。



科目紹介

1年前期1単位

大学での学び入門

大学での学びでは、自らが学ぶべきことを見出す必要があります。大学での学び方、さらには生涯を通じての学び方を身につけることを目的として、学ぶことの意義を考え、学ぶために必要な学修方法や協働での学びに必要なスキルを磨きます。



1年前期2単位

宮城大学の知の体系

3つの学群での教育・研究内容とその方法論、実社会への適用を学び、宮城大学と3学群のミッションを理解していきます。その過程で、自分の学びの社会的意義を改めて考え、専門での学びを主体的に考える機会としていきます。



1年後期1単位

キャリアデザインI

「自分は何者であり、これからどのような道を歩んでいきたいのか」を考えます。様々な分野で活躍している講師の話聞きながら自分の生き方・考え方を振り返り、自己の特性について客観的に把握するとともに、キャリア形成に対する意識を高めていきます。



1年前期2単位

スタートアップ・セミナー

大学での基本的な学習スキル(読解、情報収集・整理、レポート作成)を課題解決型の演習によって身につけます。また、少人数のグループワークを行うことで、他者と協働して学びながら課題に取り組む姿勢を養います。

1年後期2単位

アカデミック・セミナー

スタートアップ・セミナーでの学びを基にして、深い思考力と論理的に説明する方法を学びます。グループワークでは相手の意見を理解し、根拠に基づいた意見や情報を発言・発信し、グループでの課題解決力の向上をめざします。レポート作成では論理的な文章力を養います。



1年前期1単位

社会の中で生きる

社会の基本的な仕組みを理解しながら、社会への自分の関わり方を考えます。幸福・正義などの観点から社会の構成を知り、そこでの自身の役割と責任を考えながら、良識ある公民としての自覚を養っていきます。



1年前期2単位

地域フィールドワーク

実際に自分の足で歩き、地域で様々な人々に接して調査することで地域の課題を理解し、「自分が地域社会でどのような役割を担えるか」を考えていきます。



講義

- フィールドワークの目的・意義
- 課題の見つけ方 など



グループ演習

- 情報収集
- ディスカッション
- 課題設定 など



フィールドワーク

- 聞き取り
- 地域課題の明確化



グループ演習/発表

- 地域課題の調査分析
- 課題解決に向けた取り組みの提案

宮城大学 学群 INDEX

学群／学類／定員

入学者に求める能力

看護学群



看護学類
定員95名

- (1) 人や地域社会、看護に関心を持っている人
- (2) 人の喜び、苦しみを分かち合える温かい思いやりを持ち、人との関係を大切にできる人
- (3) 科学的探究心を持ち、主体的かつ柔軟な発想で取り組むことができる人
- (4) 国の内外を問わず、看護学を通して地域社会に貢献しようと思っている人

事業構想学群



事業プランニング学類
定員60名

地域創生学類
定員60名

価値創造デザイン学類
定員80名

- (1) 地域社会の動向や時代の流れに興味を抱き、自ら問題を発掘し、論理的に考え、表現することを学ぶための基礎的な学力を有する人
- (2) 大学での勉学に対する強い意欲を持ち、高度な知識とスキルを身につけることによって地域社会に貢献することを目指す人

実行可能な計画をまとめ上げることに強い関心を持ち、その際に必要となる、情報・データの読解、論理的な思考や表現の方法を学ぶための基礎学力を有する人

地域社会で顕在化している諸問題を分析してその解決策を自ら考えることや、地域社会の基盤となるまちづくりや防滅災に関する理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

人間感性や地域風土に根ざしたデザイン原理や、人々の生活の場である建築・街・インテリアなどの空間や環境をデザインする理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

食産業学群



食資源開発学類
定員62名

フードマネジメント学類
定員63名

- (1) 食及び食を取り巻く環境に興味を持ち、自然科学の基礎知識を身につけている人
- (2) 論理的思考力を持ち、食の安全・安心、環境との調和などの課題解決に情熱を傾けようとする人
- (3) 地域社会の一員として、さらには世界的な観点から食産業を考え、その発展に貢献しようとする人

動・植物や微生物など、新たな食資源の開発に強い関心を持ち、幅広い科学的知識と技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

食品製造・加工から流通・消費に至る食産業のプロセスについて、サイエンスとビジネスの両面において知識や技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

生命の尊厳を基盤とする豊かな人間力を備えて、科学的思考力とマネジメント能力をもち、ヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し、地域社会及び多分野・異文化の人々と協働して学際的に活躍できる人材の育成を目指しています。

看護学の基盤となる知識・技術を身につける「専門基礎科目」と、看護学の専門性を深め、広げる「専門科目」を学年進行に沿って体系的に配置します。

詳細ページ P25

現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的に捉え、その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに、地域資源の活用や新たな価値創造を志向し、産業、行政及び社会の各分野で先導的役割を担える人材の育成を目指しています。

現実の社会で顕在化している諸問題を分析し、新たなビジネスモデルの構築と運営できる能力（事業プランニング力）を育成します。

詳細ページ P31

現実の社会で顕在化している諸問題を分析し、地域資源も活用することで新たな地域を創生する能力（地域創生力）を育成します。

詳細ページ P33

人間の感性や地域の資源に応じた新しい価値を創造できるサービス・生活環境・製品（ものづくり）を探求創造する能力（価値創造デザイン力）を育成します。

詳細ページ P35

食資源開発及び食材生産から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い科学知識と技術を持ち、食産業全体を理解し、東北地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材の育成を目指しています。

地域に根ざす食資源の高付加価値化や生産方法に関する知識・技術を養い、科学的素養に基づきながら地域資源を活用し国際的視点で食産業の課題を自発的に解決して、未来を開拓できる能力を育成します。

詳細ページ P41

フードシステムの構築に必要なサイエンスとビジネスの両面の知識・技術を養い、科学的素養に基づきながら地域資源を活用し国際的視点で食産業の課題を自発的に解決して、未来を開拓できる能力を育成します。

詳細ページ P43

めざせる資格・免許等

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格
- 養護教諭一種免許状

※卒業時に取得できる資格・免許は、「看護師国家試験受験資格」が全員、保健師教育課程を選択した学生は「保健師国家試験受験資格」、養護教諭教育課程を選択した学生は「養護教諭一種免許状」を取得できます。

詳細ページ P28

- 取得実績のある資格

中小企業診断士／社会保険労務士／総合旅行業務取扱管理者／司法書士／国内旅行業務取扱管理者／知的財産管理技能士／ITパスポート／銀行業務検定／基本情報技術者／公認会計士／税理士／応用情報技術者／CGエンジニア検定／CGクリエイター検定／画像処理エンジニア検定

- 卒業後受験可能なもの（履修科目指定）

二級建築士／木造建築士

- 卒業後一定の要件を満たすことで受験可能なもの

一級建築士／インテリアプランナー
インテリア設計士／商業施設士

詳細ページ P38

- 家畜人工授精師

※所定科目の単位取得により、修業試験の該当科目を免除

- 食品衛生監視員

- 食品衛生管理者

※所定科目の単位を取得し、卒業後、所定の要件を満たした場合に取得可能

- HACCP管理者

※所定科目の単位取得により取得可能

- 食の6次産業化プロデューサー

※所定科目の単位取得により、「わかる（知識）」のレベル2として認定

詳細ページ P46

School of Nursing

看護学群

看護学類

定員
95名

かけがえのない生命を守るために、
人間性と倫理性を基盤とした強さと協働性を身につけ、
地域や異文化の人々とも協力していくことによって、
多種多様な看護のフィールドで活躍できる人材を育成します。



生命を守ろうという強さが、
芽生え、未来で花開く。

看護学類

看護学群では、学生の主体性を大切にしながら、看護専門職としての基本的知識と姿勢を学びます。看護現象への科学的思考力や倫理性も養いながら、よりよい看護を考えるための知見を育みます。

資格・免許等

看護師国家試験受験資格／保健師国家試験受験資格／養護教諭一種免許状

※看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格、養護教諭一種免許状の取得が可能です。
保健師国家試験受験資格と養護教諭一種免許状は選択制です。いずれか一方を選択できます。

看護専門職としての
基礎能力を養いながら、
個々のキャリア形成を支援します

学群長からのメッセージ



原 玲子

Reiko Hara

看護学群長

看護学は、人を対象とした学問です。人は、お母さんのおなかとその生命を宿し、産声を上げ、よちよち歩きをするようになり、子どもから青年へと時を重ね、社会人となり、自分も親になり、高齢者となり、いつかは死を迎えます。

看護職には、このようなライフステージに即した健康に関するニーズに対して、最良の看護ケアを提供することが求められます。しかも、一人ひとり、完全に異なる存在であり、健康問題の予防や解決に向けてのプロセスも様々です。したがって、良い看護を提供するためには、相手を理解して、何が必要かを考え、答えを導き出し、それを柔軟に実践していくことが必要です。大学における学修は、看護を提供するための基礎の段階です。質の高い看護を提供し、看護職として成長するためには、生涯にわたって学び続けることが重要です。

本学では、看護専門職としての基礎能力の養成と同時に、考えること、柔軟であること等、看護の専門性を発揮するために必要な人間性を養うことも重視しています。

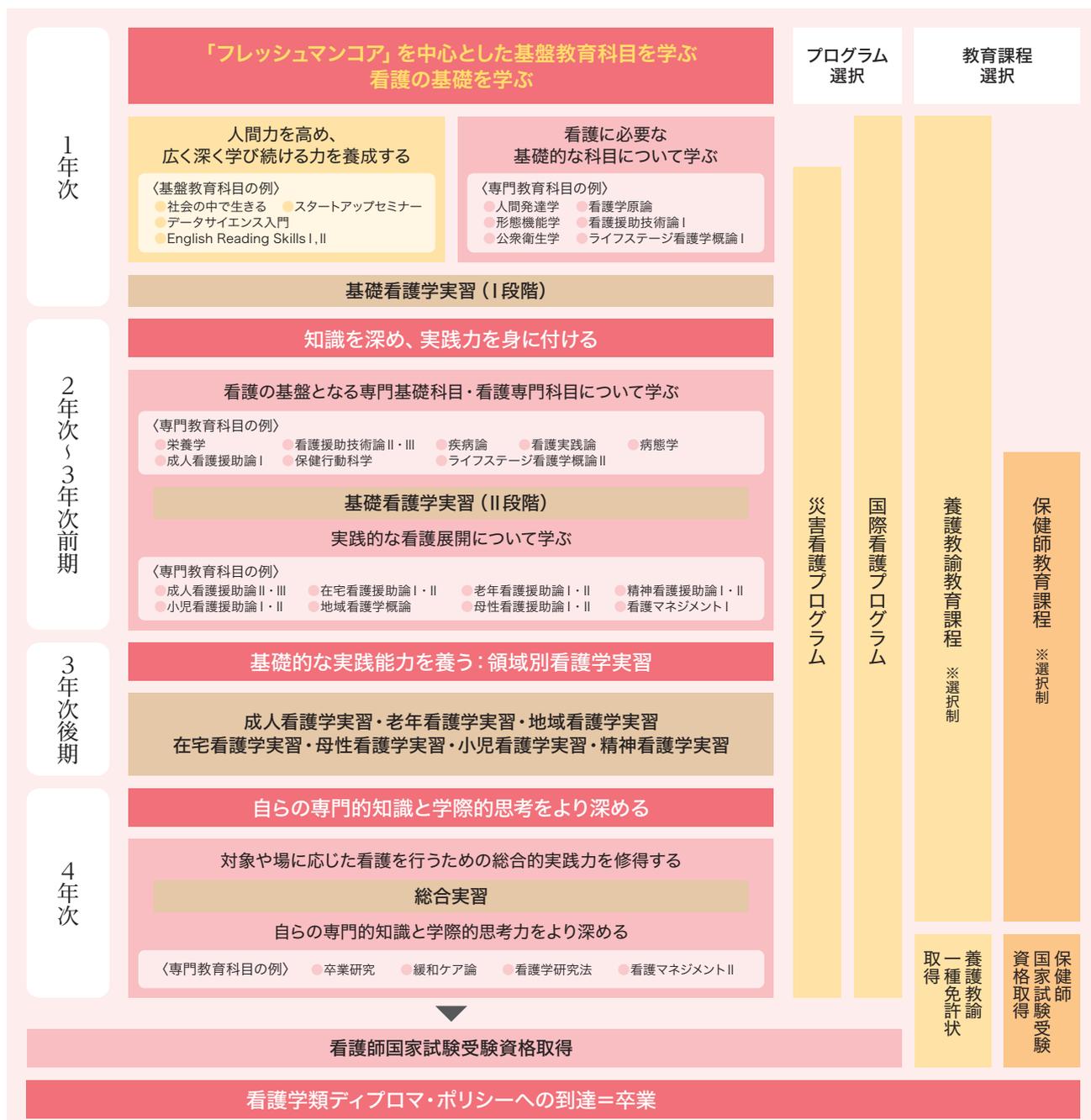
また、看護学群のほとんどの学生は、高校生の頃に、将来の進路として看護を選択して、大学入学後をイメージしています。しかし、大学入学がゴールではないので、看護職としての自己のキャリアを展望しながら、看護学を学修できるようにサポート体制をつくり、一人ひとりのキャリア形成も支援しています。

看護学群

看護学類

座学を中心とした基本的な看護学習から、
 実習を交えて、より実践に近い形で学んでいきます。
 医療に関する様々な分野の知識だけでなく、
 看護をしていく上で大切な、「豊かな人間力」も養います。

看護学類での4年間の学び



基礎看護学実習

1人の患者を担当し、看護の視点と思考、実践のサイクルを体験する

1年次後期の「基礎看護学実習(I段階)」は、臨床の現場で実際に患者さんを担当して、看護の視点から、対象者の健康に関する課題を明らかにし、その課題を解決するという一連の過程を学ぶための入門実習です。学生は5~6名のグループに分かれ、仙台市内の病院へ1週間ほど出向きます。

実習期間中は、教員や病院の実習担当看護師から指導を受けながら、患者さんとのコミュニケーションや、健康状態を含めた全人的なアセスメント、そして、基本的な看護技術を提供する能力を養います。毎日、グループごとにカンファレンスを行い、実習を通じての疑問や学びを共有するとともに、教員と実

習担当看護師からの助言により考察を深めます。

病院での初めての实習は緊張するかもしれませんが、実習の前には、病棟の環境に似た本学の「ナースング・ラボ」で、「看護技術論」や「看護援助技術論」で演習を重ねます。「基礎看護学実習(I段階)」を終了した後は、2年次に2週間の「基礎看護学実習(II段階)」、3年次には「領域別実習」各2週間、そして4年次には自分の希望する領域で2週間の「総合実習」が続き、看護学の学びを深めていきます。



家族看護論

演劇製作を通じて家族看護論を主体的に学んでいます

患者だけではなく、その家族も悩んだり、迷ったり、戸惑ったりしているため、看護職はその家族を理解し、必要に応じてケアを提供しなければなりません。「家族看護論」(2年次後期:必修科目)では、家族看護の意義や家族への看護的アプローチを学びます。本科目では、看護学生が家族看護の学びを深めるために、3つの工夫をしています。



1つ目は家族理論やアセスメントモデルをしっかり理解すること、2つ目は家族支援に関わる専門家からのお話です。なかにはLGBTやドメスティック・バイオレンスの当事者のお話もあり、現代の家

族の多様性を体感できるようにしています。3つ目は「家族の苦悩」の演劇創作のグループワークです。「看取り」、「認知症」、「遺伝疾患」、「育児困難」などのテーマを選び、家族構成や登場人物の背景を設定し、脚本も自分たちで制作するという本格的なものです。

学生たちは非常に熱心ですし、発表会後には苦悩を抱える家族全体への理解・共感性が高まります。何よりも学生同士で学びを共有することで大きく成長します。この授業を通して、家族に関心をもった看護職になってもらいたいと願っています。

学生たちは非常に熱心ですし、発表会後には苦悩を抱える家族全体への理解・共感性が高まります。何よりも学生同士で学びを共有することで大きく成長します。この授業を通して、家族に関心をもった看護職になってもらいたいと願っています。

Student Message

基盤教育での学びを実習に活かしたい

私は、1年次の基盤教育「アカデミック・セミナー」で、「救急車の有料化」をテーマにディベートに取り組み、肯定派に回りました。有料化は、軽症で救急車を呼ぶ人が減少すること、消防関連費用の財政負担軽減につながるという点から反対派と討論しました。この経験を通して、双方の意見を多角的に分析して、論理的に相手を説得するトレーニングを積むことができました。医療現場では、様々な職種の方々との協働が必要です。自分の考えをわかりやすく伝えなければならない場面も多いと思いますので、看護の実習ではこの学びを活かしていきたいです。



2年 山本 瑛万さん
宮城県仙台第一高等学校出身

患者だけでなくその家族にも寄り添える看護職に

「家族看護論」で、患者の家族が抱えている苦悩をテーマとした劇の創作に取り組んだことが印象に残っています。選んだテーマは育児困難。演じるだけではなく、シナリオを自分たちで考えなくてはならないため、能動的に調べる必要がありました。

苦悩は何が原因でどのように生じているのかを考え、明確化し、それをより理解してもらえるよう演出も工夫しました。家族のおかれた状況や苦悩を想像して、患者だけでなく、家族にも視点を向けた支援を行うことの必要性を学びました。看護の道を志す者として、一歩成長できたと思っています。



3年 山口 大樹さん
山形県立山形東高等学校出身

看護学類

専修プランニング学類

地域創生学類

価値創造デザイン学類

言語空間学類

フードマネジメント学類

学びへの誘い



実践性の高い学問だからこそ、社会や人との関わりが重要

私は、「在宅看護学」を専門としています。多種多様なライフステージや健康レベルにある在宅療養者とその家族が、住み慣れた地域でどのように生きていきたいのかを共に考え、どのように支援することで実現できるのかを追求します。そのため、地域における様々な機関・職種との関わりや連携が不可欠となりますので、非常に実践性の高い学問であると言えます。

私は、支援の本当の意味とは、自分たちが「何かをしてあげる」ことではなく、対象の力や持っている可能性を信じて、それを引き出すことではないかと考えています。本人とその家族が主体となって課題を解決したり、苦難を克服できるように、環

境を整え、そのプロセスをチームで支援していくことが看護に従事する者の使命だと思っています。

看護は人と関わりながら、生命と生活を守るお仕事です。学生時代には勉強はもちろんですが、いろいろな人と接しながら豊かな経験を積んでください。人との関わりの中でこそ、相手やその家族の苦悩を想像し、本質を理解し、共感する力、支え合う力が培われていくからです。



看護学類

講師 志田 淳子

看護職者としての精神を育む

私は精神看護学が専門で、主に精神疾患を抱える方とご家族への支援や偏見・差別の軽減に関する研究をしています。

私が担当している2～3年次の必修科目「精神看護援助論」の一部では、看護職者としての精神的な土壌を育てるために、自分自身の振り返り(リフレクション)に重きを置いた授業をします。

例えば実習中、泣いている患者さんやイライラしている患者さんに遭遇した時、多くの学生にとっては声を掛けることが容易ではありません。そのような場面に身を置くことやその方の苦しみに寄り添える自信が十分に培っていないからだと思います。しかし、実際の現場では毎日、年齢や性別、抱える疾患も異なる患者さんと相対することになります。看護職者は、そうしたすべての人に対して、寄り添えなければなりません。そのためにはまず、「自分はどんな場面で苦手が、それはなぜか」などといった自己洞察をし、自分と向き合うことで克服していく必要があります。

ほかにも、精神疾患を持つ患者さんとそのご家族を招いての病いの体験に関する講義や、学生たちにグループセラピーやアートセラピーを体験してもらうなど、実体験により近い形の授業を行うことで、深い学びを得てほしいと考えています。



看護学類

講師 小松 容子

人間を理解する「感性」を育む時期

私は、主に1年次、2年次の「看護原論」や「看護技術論」「基礎看護学実習」などの科目を担当しています。臨床で集中治療室やエイズ患者の看護に従事した後に、厚生労働省の看護技官として、保健医療福祉に関する行政に携っていました。東日本大震災等の対策本部で危機管理にも当たりました。これらの経験から、大学院では「看護政策論」という、看護制度や政策に関する科目も担当しています。研究テーマは、資格制度や、地域包括ケアにおける看護事業の展開などです。

看護学は、人間を対象にした応用科学であり、看護実践も理論や技術と共に、人間や社会に関する深い理解が必要になります。そのためには、人間としての「感性」を育てる必要があると考えています。入学後は、勉強以外にも、サークル活動やボランティア、旅行などをして、知見を広めて、将来は豊かな人間性を備えた看護専門職となってほしいと思います。また、看護専門職の活躍の場は行政や企業でも広がりますので、将来は、多様な場で看護の視点を持って社会に貢献してほしいと考えています。



看護学類

教授 石原 美和

プログラム選択の特色

「国際看護プログラム」について



グローバルな視野を持つ看護職になるための学びの場として「国際看護プログラム」を設置しています。将来、国内外の看護の現場で、異文化の人々を理解し、看護実践および関係者と協働できるための基盤となる基礎的能力の修得を支援するプログラムです。本プログラムでは、学生が各自のポートフォリオを作成しながら、所定の英語科目と看護専門科目により4年間学び続けます。専門科目の「実践看護英語演習」では、医療英語も学び、海外の看護大学や医療機関での研修を行います。各国の文化や社会問題をふまえた看護ケアについて学び、多様化している世界に対応できる柔軟性や広い視野を習得していきます。

Student Message

国際支援にかかわる看護師になりたいという夢があり、海外での研修がある宮城大学へ入学しました。3年生の夏に2週間のフィンランドでの研修に参加し、現地の看護教員の講義や実技演習、老人ホームやホスピス、ネウボラ(独自の母子保健システム)などの施設見学を行いました。充実した福祉施設やサービス、支援システムなどを学ぶ中で、「福祉が発達する」ということは、「いかにその人らしく暮らせるか」なのだ実感しました。私は、この演習を通して、視野が広くなり、人とのつながりの大切さを再認識することができました。将来は、英語を学び続け、異なる文化的背景をもつ患者さんへも対応できるような看護師になりたいと思っています。

宮城県仙台市向山高等学校 出身

看護学部 看護学科4年 佐藤 奏春さん





「学びへの誘い」の
詳しい内容については
ウェブサイトにてご覧いただけます。

看護学群のキャリア支援

看護学群では一人ひとりの自己実現のために、そして看護職として自律した社会人となれるようキャリア支援を行っています。

卒業後の進路

- 病院や施設・地域で働く看護師
- 自治体や企業の保健師
- 小・中・高・特別支援学校の養護教諭
- 大学院や助産師養成校への進学

看護学群において卒業時に取得できる資格・免許は、「看護師国家試験受験資格」が全員、保健師教育課程を選択した学生は「保健師国家試験受験資格」、養護教諭教育課程を選択した学生は「養護教諭一種免許状」を取得できます。

キャリア教育

1・2年次からキャリアガイダンスを実施し、看護師や保健師、養護教諭として活躍するOB・OGの話聞き、職業観を養います。3年次からは「医療機関研究セミナー」や「公務員(保健師)セミナー」「教員採用試験(養護教諭)セミナー」等の学内行事を通して、個々の個性や適性に合った職業を自ら選択できる能力を育成します。

就職・進学相談

4年次は学群のキャリア担当教員による、就職や進学についての「個別相談」を計画的に実施しています。キャリア開発室は、就職試験にむけたエントリーシート作成支援、面接対策などの支援をします。また、進路指導員による相談も随時行っています。

国家試験対策

「看護師」「保健師」は、国家試験の合格をもって資格が得られますので、模擬試験や模擬試験解説会、直前対策講座など多くの支援を行っています。また国家試験合格にむけて、看護学群の専門教員によるサポート体制を構築しています。

看護学部の進路データ

※平成29年度実績

多くの卒業生が、宮城県をはじめ日本全国における保健・医療・福祉・教育の場で活躍しています。

看護学科

就職先一例 (順不同)

東北大学病院／東北公済病院／仙台オープン病院／仙台厚生病院／国立がん研究センター 中央病院／仙台市立病院／東京大学医学部附属病院／松田病院／宮城県立こども病院／大和町／JCHO仙台病院／石巻赤十字病院／大崎市民病院／国見台病院／順天堂大学医学部附属順天堂医院／仙台医療センター／仙台赤十字病院／東京都立小児総合医療センター／東北医科薬科大学 若林病院／宮城県看護協会 訪問看護ステーション(若林ステーション)／宮城県立病院機構精神医療センター／宮城病院／横浜南共済病院／がん研究会有明病院／岩手県(保健師)／岩沼市(保健師)／仙台市(保健師)／登米市(保健師)／美里町(保健師)／宮城県(養護教諭)

進学先一例 (順不同)

仙台医療センター附属仙台看護助産学校／聖路加国際大学大学院 助産学専攻／東京医科保健大学 助産学専攻科



看護学類

専修プランニング学類

地域創生学類

価値創造デザイン学類

食育・食生活学類

フードマネジメント学類

School of Project Design

事業構想学群

事業プランニング学類
地域創生学類
価値創造デザイン学類

定員
200名

社会の動向や構造、また、人間の感性や行動を俯瞰でとらえて理解し、
地域の成り立ちや特性を踏まえたうえで新たな知的価値を創造します。
また、事業の計画・運営について実践的に学び、地域活性化を担う人材を輩出します。



地域の活性化のために、
創造的な未来を拓く。

事業プランニング学類

グローバル化・情報化が進む現代社会において、新しい、また持続可能なビジネスモデルを創出するための知識や思考法を学びます。

地域創生学類

人口減少や震災復興などの地域が抱える課題の解決を図るため、地域政策や協働のまちづくり、コミュニティビジネスの手法について学びます。

価値創造デザイン学類

人間の感性や地域の自然、文化に根差して新たな価値を生み出すことを目指し、情報デザイン・環境デザインについて学びます。

「知の拠点」として、 地域社会の輝きの 原動力となる人材を育成

学群長からのメッセージ



風見 正三

Shozo Kazami

事業構想学群長

20世紀は「都市の時代」であり、大都市に集中する経済力が国を牽引してきましたが、21世紀は「地域の時代」であり、地域の資源に着目し、それらを有機的に循環させながら、持続可能な社会を創造していく時代となります。特に、東北においては、東日本大震災によって、都市文明の脆弱性が露呈するとともに、豊かな自然や歴史、地域に根付いた産業の重要性が見直されてきています。

事業構想学群では、こうした社会状況を踏まえながら、「Project Design」の視点から、様々な事業を構想・計画・設計・運営していくための理論と実践を学んでいきます。本学群には3つの学類があり、それぞれ事業プランニング学類では「しごとづくり」、地域創生学類では「まちづくり」、価値創造デザイン学類では「ものづくり」を中心に、地域社会に新たな価値を提供する方法論を学び、ケーススタディやフィールドワークを通して、地域の資源を磨き、輝かせていく実践的な研究や教育を展開していきます。21世紀は、世界的な視野に立ち、地域の行動に結びつける「グローバル(Global+Local)」なソリューションの創造が求められます。宮城大学は、地域の価値を発見・創造する「知の拠点」として、行政、企業、市民をつなぎながら、地域の輝きの原動力となる人材を育成していきます。21世紀を担う学生諸君は、この「知の拠点」を存分に活用し、積極的に地域社会と関わりながら、東北や日本を輝かせる中心的な人材として成長・活躍してほしいと願っています。

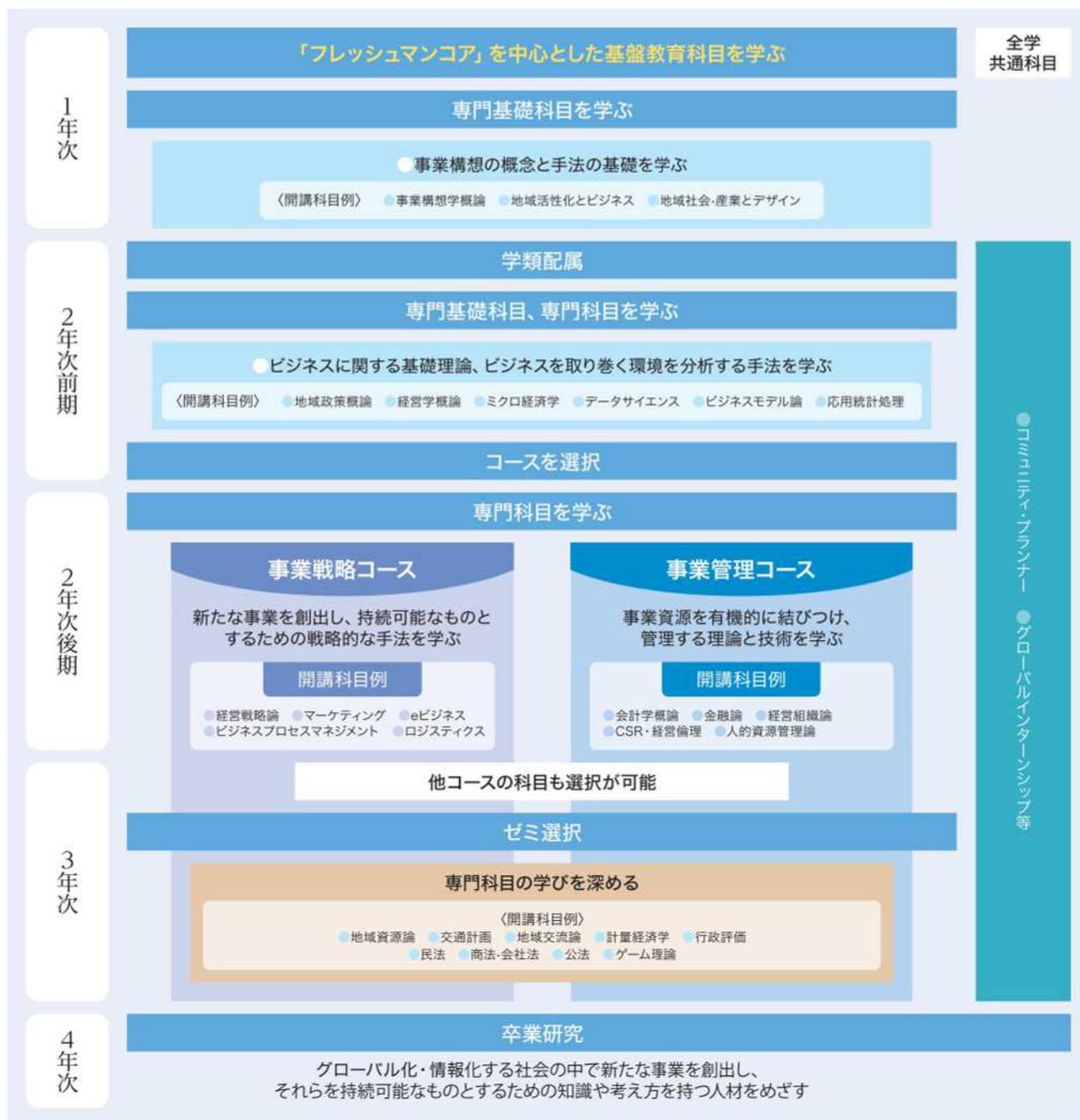


事業構想学群

事業プランニング学類

経済活動の仕組みを学び、企業がどんなことを考えてビジネスをしているのか、多くのモデルを学びます。その理論や思考法を身につけ、日々変化する社会の中で通用する事業とは何か、探求していきます。

事業プランニング学類での4年間の学び



経営戦略論

経営戦略に必要な、情緒的な価値も学ぶ

「経営戦略論」では、企業が存続し、長期的に生き延びていくためにはどうすれば良いのかを考えていきます。

ただし本来、人間には予知能力が備わっているわけではないので、未来を予見することは不可能です。そこで、経営戦略の立案においては、未来予測を立てることだけで完結するのではなく、起こって当然と言える予想外の事態に対し、どう対処していくかを考えておくことも重要となります。したがって、戦略を動かしていく中で起こりうる、予想外の事態をきちんと想定し、その場合どう対処するかまで準備しておくことが求められます。経営戦略を立てるに

は、十分な「心構え」が必要なのです。

また、経営戦略において、もうひとつ重要なのが、「人を活かす」ということです。結局のところ、企業は人の集まりです。そこで働く人がそれぞれの能力を最大限に発揮できる環境や風土を形成する必要があります。経営戦略は計画のみではありません。本講義では当然、方法論として習得すべきものとして体系は学んでいきますが、情緒的なプラスαの価値についても考えていきます。



ゲーム理論

他者との関係について想像できる力を

ゲーム理論を経済学の観点から学んでいきます。例えば、プレーヤーとして企業のA社とB社が存在し、互いに競合関係にあるとします。そして2社間で数量競争が起こった場合、A社が生産量を増やしたら、B社も同様に生産量を増やすべきか、あ



るいは逆に減らしたほうがよいのか、といったことを考えていきます。市場の状況も勘案し、他者の行動とそれが自らに及ぼす影響とを損得という基準で可視化して比較し、最終的にはどのような状態が均衡にあると言えるのかを追究する、といった内容になります。

現実の市場ではこのような決断

を求められる機会は多々あります。授業の中では、学生に企業の役割を課し、模擬取引も行っています。自らの損得について検討できるようになってもらうことが目的です。

他者との関係を予め想定し、決断していくことは、社会に出てからも多くの場面で経験していく事となるでしょう。特に、事業計画の立案では必須の検討事項となります。ゲーム理論のフレームワークは、そのような場面に対応する有用なツールとなることは間違いありません。

Student Message

学びの中で見つけた 自分の将来に向かって

もともと経営学や商学に興味があったので、経営戦略論を履修し、さらに深めたいと思い福永先生のゼミで学んでいます。授業の中で、世界トップクラスである日本の自動車産業についての文献を読み、自動車メーカーをはじめとする製造業に興味を持ちました。卒業後は、そうした製造業の発展に貢献できる仕事がしたいと考えています。

大学入学前は将来について漠然としていましたが、宮城大学でさまざまな分野の授業を受ける中で、自分の興味や方向性が見えてきました。学びの中で見つけた将来の目標に向かって努力しています。



4年 今野 沙織さん
宮城県泉高等学校出身

好奇心旺盛な自分に ピッタリの大学

私は高校時代から好奇心が強く、文系・理系を問わず幅広い学問を勉強したいという思いがあり、宮城大学を選びました。3年次からのゼミでは、ミクロ経済学を重点的に学びましたが、他にも経営学やマーケティング、事業管理に関わる授業を受ける中で、より立体的な学びを得ることができたと感じています。

念願の宮城県庁への就職が決まりました。自分の生まれ育った地であり、大好きな宮城を盛り上げるために、宮城大学で得た知識や経験を最大限に生かしたいと考えています。



2018年3月卒業 大泉 匡哉さん
宮城県仙台第二高等学校出身

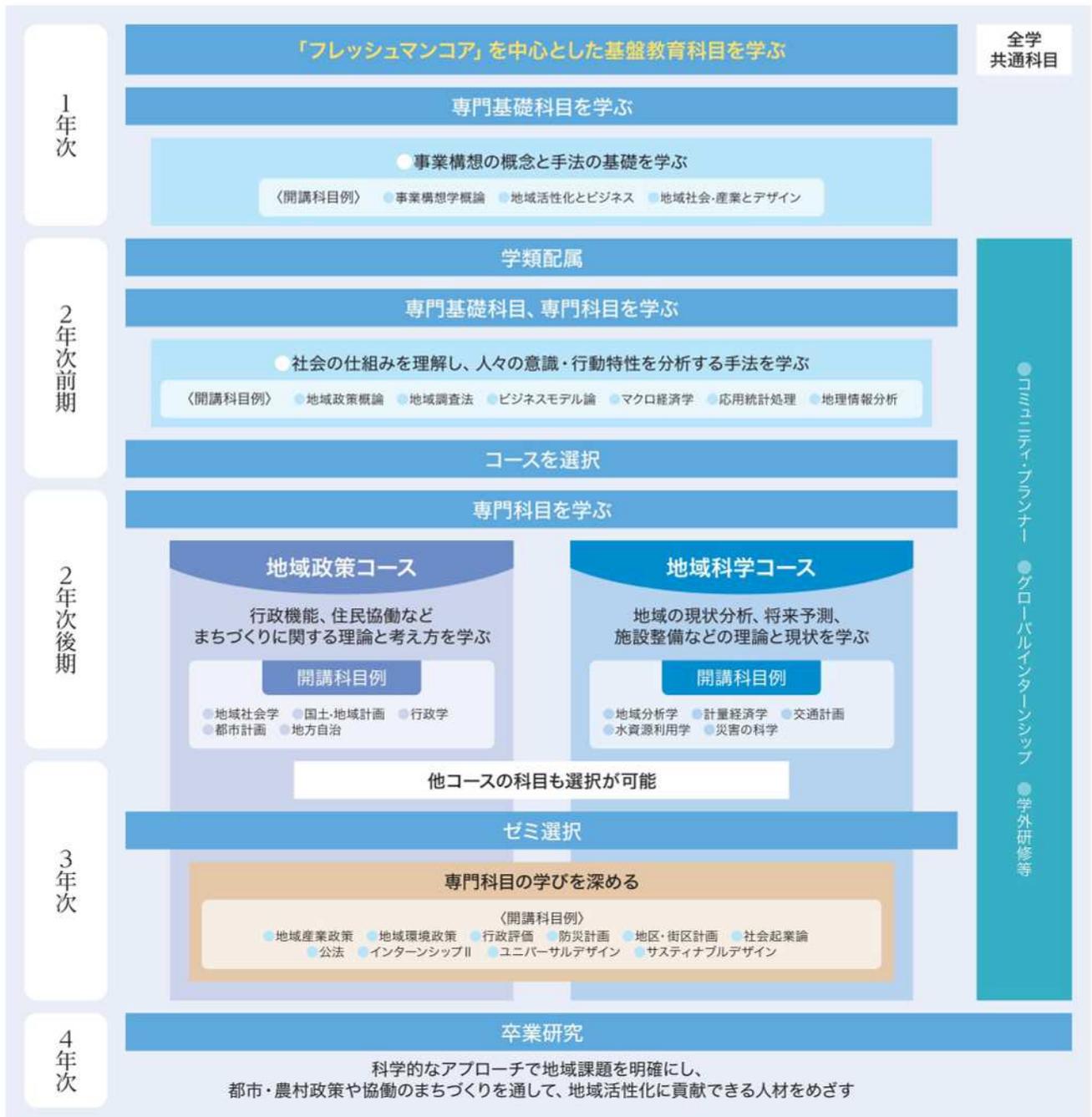


事業構想学群

地域創生学類

地域がもつ地理的・歴史的な背景を理解し、フィールドワークを通して、より具体的な地域課題について考えていきます。その上で見えてきた問題点をいかに解決し、いかに変えていくかを考察します。

地域創生学類での4年間の学び



地域分析学

地域創生を考えるうえで必要な分析能力を習得

少子高齢化の急速な進展に対応し、人口減少に歯止めをかけることや、地方から首都圏への人口集中の是正などを目的に、2014年11月、「まち・ひと・しごと創生法」が施行されました。それを受けて日本各地では、地域の実情に応じて、個々の特性を活かした「地域創生」の取り組みが活発化してきています。

ただし、地域創生と言っても、日本各地における地域の実情はすべて同じではありません。したがって、その地域の実情に応じた政策を考えていくことが重要となります。そういった実情の中には、その地域の人口構成や産業構造などの差が挙げられま

すが、まずはそれらを的確に把握する能力が求められます。つまり、分析する力です。そのうえで、特徴や課題を抽出し、将来予測に基づいた対策を検討することが必要なのです。

そこで本講義では、適切なデータを収集し、それらを統計的・数理的な手法を用いて定量的に可視化・解釈できるように、指導を行います。地域分析においては必須の技術となる、情報の定量化・データ化・可視化の習得を目指していきます。



地方自治

「社会の中でどう生きるか」、その答えのヒントに

これまで地方自治を主として担ってきたのは行政でしたが、環境の変化により対応が難しくなり、NPOや民間企業、市民が地域をより良くするために自発的に活動しています。地域には「こうして欲しい、こんなことができたら」と様々なニーズを持つ



ている人がいます。同時にそのニーズに応えようの人がいます。地域にどういったプレイヤーがいて、どんな形でニーズを満たすことができるのかを把握するためには、問題を「自分のこと」として考える視点が大切です。

この授業では、地方自治の歴史から地方分権の流れを学び、地域

で活躍するプレイヤーについて理解を深め、どのような形で地域をマネジメントすることができるのかについて考えます。例えば地方自治体であれば財政問題に直面する中、いかに事業を展開するか、NPOであれば社会的収入をどう確保するか、企業や自治体とどう協働していくかなど、実践的に勉強していきます。

将来、民間企業や行政やNPOなどで働く上でも、地域で生きる個人としても、新しい地方自治の視点を持つことは重要です。誰もが抱く「社会の中でどう生きるか」という問いへの答えにもつながっていくでしょう。

Student Message

心へのアプローチによって、地域の人と人をつなげたい

地域活性化とコミュニケーションに興味があります。地域振興と生活者の心理的・質的な価値創出をキーワードに、広告やイベントなどのツール開発を学んでいます。

宮城大学は実践的な学びが特徴です。学科を越えてチームを組み、観光系企画を立案するグループワークに授業で取り組みました。インバウンドがテーマだった時は、日本酒やそれに合う地域の名物を使ったおつまみを紹介するイベントを企画しました。

地域のもつ魅力を発信するために、人と人をつなぐ機会や場を創出して、地域貢献を果たしていくことが将来の目標です。



4年 小野 朝美さん
秋田県立秋田西高等学校出身

自分の将来につながる学問と出会うフィールド

経済や金融などを学ぶことができる大学を探していた時、オープンキャンパスで宮城大学を訪れ、雰囲気の良いことに惹かれました。宮城大学では、経済や金融以外にも経営学や地域創生、事業計画などといった幅広い分野の授業を受けることができ、そこに魅力を感じています。様々な講義を受ける中で自分の興味が明確になり、将来も具体的にイメージできるようになりました。卒業後は、中小企業を支える金融機関で働きたいと思っています。「大学で自分の興味を深めながら、将来のビジョンを見つけていきたい」という人に、宮城大学をおすすめします。



4年 高橋 拓海さん
宮城県宮城野高等学校出身

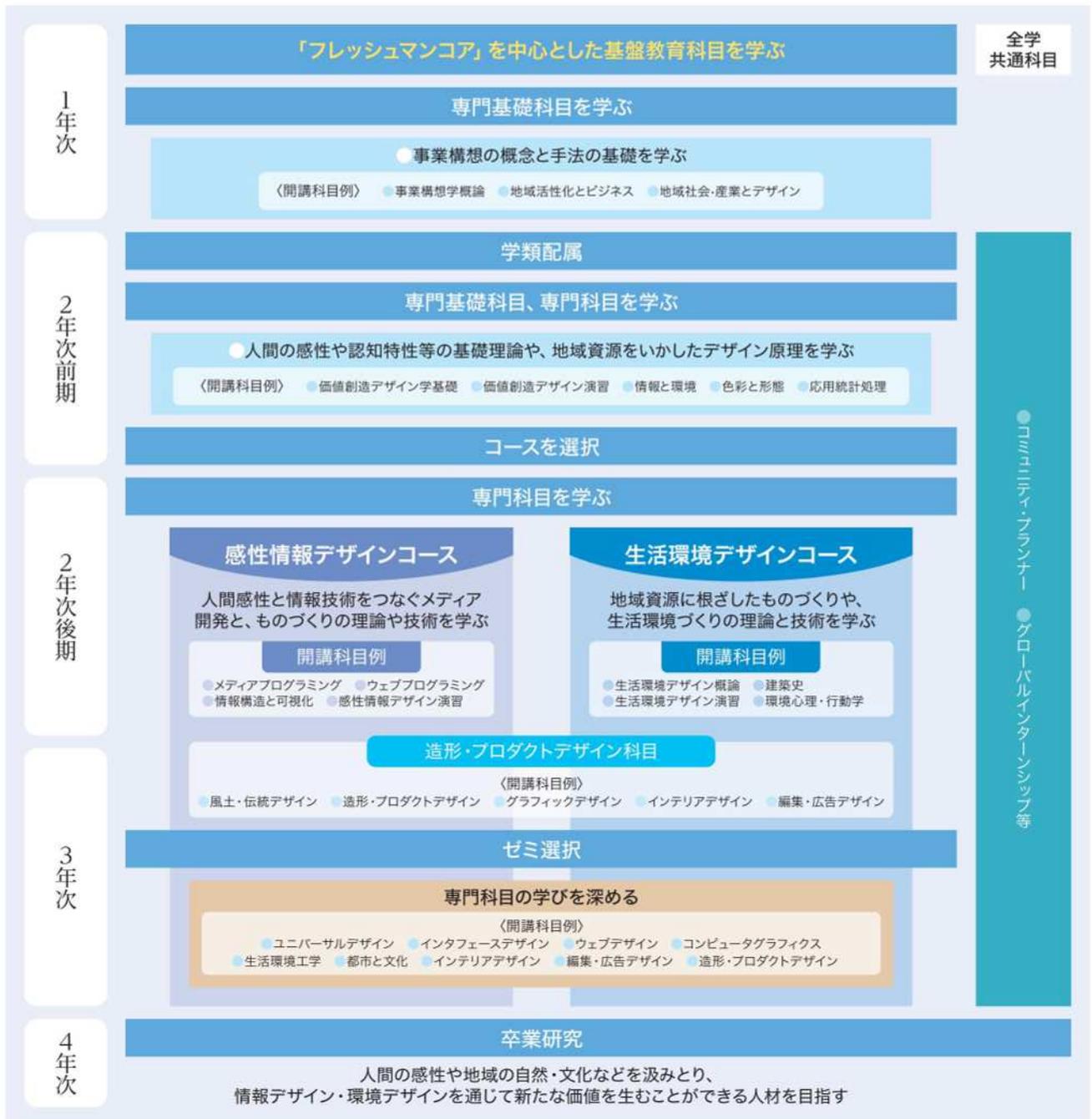


事業構想学群

価値創造デザイン学類

社会の特徴を観察し、デザインが果たしている役割を学びます。
日々状況が変化していく社会環境の中で、
デザインを通してどんな問題に取り組んでいくか、
新しい価値をどのように生み出すかを考えます。

価値創造デザイン学類での4年間の学び



コンピュータグラフィクス

技術の進歩を捉えながら、モノづくりの新たな価値を追究

この講義ではゲームや映像、CADなどで幅広く活用されている「コンピュータグラフィクス(CG)」を取り扱います。大きくはビジュアル情報処理と3次元CGとに分けられます。

まず、前半はビジュアル情報処理について学びます。人工知能(AI)の急速な発達によって、デジタル画像の処理技術も進歩してきています。こういった背景を受け、ビジュアル情報の取得・生成・処理について、その原理を実際に動作するコンピュータプログラムを作成しながら学んでいきます。

後半になると、3次元CGの分野に入っていきます。はじめに仮想空間における3次元物体の定義を

考えます。そして、ディスプレイ上に投影したときのリアリティを追究するために、その効果的な表現方法をやはりプログラミングによって学んでいきます。

最後に、最終課題として、ゲームなどのインタラクティブ(双方向性のある)な3次元CGアプリケーションを開発・作成します。モノづくりにおける新しい技術の開発や価値の創造を、実践の中で進めていきます。



生活環境デザイン演習

図面の読み方・引き方からまちづくりまで、広く深く生活環境を学ぶ

「生活環境デザイン演習」は、インテリア・住宅づくりからまちづくりまで、人間が暮らす場所や環境について、実践を交えながら幅広く学ぶ授業です。スタートとなる2年次には図面の読み方・引き方など基礎的なことを学び、学内の施設を実測し、空間認識力を高めるフィールドワークも行います。その知識と経験を活かし、次のステップでは利用者を意識した住宅や建物のプランニングと設計を行います。そして最終的には、都市環境調査とそれに基づくまちづくりまで行います。



多くの大学では建築を学ぶ学科は「工学部」に所属しており、建築

構造や設備などのハード面の学習の割合が大きくなっています。一方、本学では「事業構想学群」に所属しており、学びの中心は「そこに住む人たちがどんな生活をしたいのか」など、生活や心理を中心にした設計やデザインです。なぜなら、利用者の満足を実現するには、利用者の潜在意識にある要求や課題を把握し、設計で解決しなくてはならないからです。そのために、建築の知識や技術はもちろん、人間の行動心理や世の中の動きなど、広い視野を身につける必要があります。この演習では、様々な経験を通してその土台をつくっていきます。

多くの大学では建築を学ぶ学科は「工学部」に所属しており、建築

Student Message

デザインすることで論理的思考力を身につける

設計士を志望しているので、建築や空間デザインの勉強に力を入れて取り組んでいます。実習では、デザインの表現や見た目を追究するだけでなく、「その裏側にある課題は何か」ということまで考察するため、感性を養いながら論理的な思考も身につけることができます。形として現れる結果だけでなく、そこに至るまでのプロセスも重視すべきであるということを学びました。

宮城大学は、先生と学生の距離が近いことが魅力です。不安なことや疑問に思ったことを相談、質問しやすい環境で、学修に積極的に取り組むことができます。



4年 泉 智佳子さん
秋田県立秋田南高等学校出身

得意分野を知り、今後につなげていく

広告やプロダクトデザインのほか、プログラミングを用いたアート表現を学んでいます。「コンピュータグラフィクス(CG)」の授業では、情報を処理する技術やCGの仕組みについて理解を深め、情報の有機的な流れを考えることができ、世の中にはこんなに「楽しいこと」があるのかと感動しました。

宮城大学では苦手分野があっても、それをカバーするくらいの得意分野を見つけれられると思います。私は英語が苦手なのですが、プログラミングは得意と言えるようになりました。得意分野を磨き、将来に生かしていきたいです。



3年 芳賀 里佳子さん
宮城県仙台第三高等学校出身

学びへの誘い



好きなことを存分に突き詰めよ

航空機や自動車などの機械系製造業について研究しています。機械系製造企業の歴史や成り立ち、航空機の開発についてなどをイノベーション(技術革新)マネジメントのアプローチから研究しています。

学生には、私自身が航空機に興味関心があったからということもありますが、好きなことは突き詰めていくべきだ、と言いたいです。若いうちは特に体力も時間もあるので、どんどん好きなことに打ち込んでほしいと思います。



事業プランニング学類
教授 福永 晶彦

企業行動が与える消費者への影響とは

専門は理論経済学です。中でも、市場が少数の売り手によって支配されている寡占市場において、競争や合併などの企業行動が厚生水準をどのように変化させ、消費者にどのような影響を与えるのかということの数理的に分析しています。宮城大学は、教員と学生との距離が近いこともあり、疑問や課題として感じたことを真剣に研究できる大学です。探究心旺盛な学生にぜひ来てほしいと思います。



事業プランニング学類
准教授 金子 浩一

地域で活かす基本力とマネジメント力

地域コミュニティの人々が豊かに生きるために、どのように公共的なモノやサービスを供給することができるでしょうか。研究室では特にNPOや社会的企業を中心にマネジメントや政策を研究しています。地域創生を考えることは、とてもクリエイティブな取り組みです。その実現のためには地方自治の基本を学び、その上で政策や計画、また評価といった学びを重ねることで、地域で活かせるマネジメント力を備えることにつながります。



地域創生学類
准教授 石田 祐

より良い地域社会の実現を目指して

専門としているのは「都市・地域計画」、「景観工学」、「計画数理(統計学)」、「空間情報工学(測量・GIS・リモートセンシング等)」です。都市や地域に目を向けたとき、「定量的に明らかになっていないこと」や「望ましい社会基盤整備の在り方」など、研究テーマはたくさん存在していることに気づきます。より良い地域社会の実現を目指すことをテーマに、これからも研究に取り組んでいきたいと思っています。



地域創生学類
准教授 石内 鉄平

分析によって「自分なりの見識」に根拠を

応用計量経済学と「LCA(Life Cycle Assessment)分析」が専門です。経済・社会現象の仕組みを定量的に分析する計量経済学を活用し、現実がセオリーどおりに動いているかどうかの検証などを行います。



地域創生学類
講師 板 明果

「LCA分析」では、製品の製造・使用・廃棄といったライフサイクルが経済や環境に与える影響を分析します。学生には、自力で分析することによって、十分な根拠のある「自分なりの見識」を持ってほしいと願っています。

新たなモノ・コト、一緒に創っていこう

「現実社会においてしっかりと役に立つ」ことを大前提に、空間情報システムの研究を行っています。まず、道路をはじめとする土木構造物の設計支援システムの開発に取り組んでいますが、これにはコンピュータグラフィックス(CG)やバーチャルリアリティ(VR)の技術を活用しています。また、ゲームエンジンを用いた災害避難シミュレーションシステムの構築にも取り組んでいます。新たなモノやコトを創る志のある学生を待っています。



価値創造デザイン学類
教授 蒔苗 耕司

「ニーズ」の裏にある「解くべき問題」を理解する

建築物を利用する人は、必ずしも建築に詳しくありません。安心して暮らせる住宅、利用者が満足できる施設やまちづくりを実現するためには、彼らのニーズを形にしていくことが重要です。建築設計は「解答づくり」と言われますが、これから求められるのは、利用者の要望に応える「解答」を導くために「解くべき問題」を理解し、それを設計やプランで解決する力です。「解くべき問題づくり」のプロセスである建築プログラミングの知識や技術を学んでいきましょう。



価値創造デザイン学類
教授 井上 誠



「学びへの誘い」の
詳しい内容については
ウェブサイトにてご覧いただけます。

事業構想学群のキャリア支援

事業構想学群では、1年次生から4年次生まできめ細やかなキャリア教育と就職活動に対する支援を行っています。

事業構想学群は、多様な進路を特徴としており、
学生の特性にあったキャリア形成を支援します。

座学でのキャリア教育

能動的な就職活動

1年次生から3年次生まで多様なインターンシップ・プログラムを提供

近年では高い就職内定率はもとより、有力企業への就職者も増加しています。公務員志望者には、入学時より体系的な学びの指導を実施しています。民間企業では、金融、情報通信、小売・卸、製造業など多様な業種に就職しており、指導的人材としての“総合職”希望者が多いですが、建築士やデザイナー、Web開発者など“専門職”への道も開かれています。

事業構想学部 of 進路データ

※平成29年度実績

金融、流通、情報、そして建築・不動産等、幅広い業種にむけて人材を輩出しています。また、活躍している職種は、総合営業職をはじめとし、SE、建築士、デザイナー等の専門職に及んでいます。

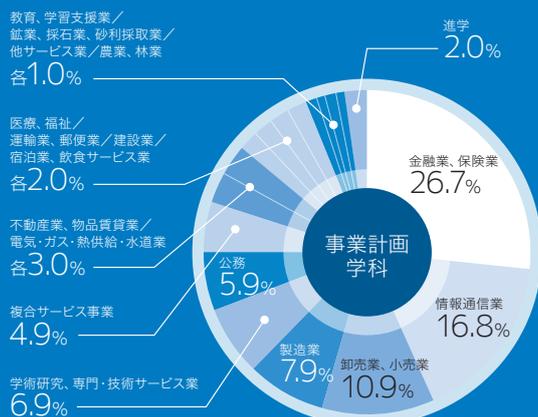
事業計画学科

就職先一例 (順不同)

(株)七十七銀行 / 損害保険ジャパン日本興亜(株) / (株)仙台銀行 / (株)山形銀行 / 明治安田生命保険相互会社 / 日本生命保険相互会社 / 三菱UFJ信託銀行(株) / フルデンシャル生命保険(株) / NECソリューションイノベータ(株) / (株)日立ソリューションズ東日本 / (株)NTTドコモ / (株)日本総合研究所 / (株)日立システムズ / 東北インフォメーション・システムズ(株) / 東北放送(株) / 富士通(株) / (株)ローソン / カメイ(株) / イオンリテール(株) / (株)資生堂 / 日本電気(株) / 宮城県 / 国家一般職(林野庁) / 多賀城市 / (株)メンバーズ / 宮城県商工会連合会 / 東北電力(株) / 東日本旅客鉄道(株) / (株)ユアテック / (株)JTB東北

進学先一例 (順不同)

宮城大学大学院 事業構想学研究所 / 北海道大学大学院 環境科学院



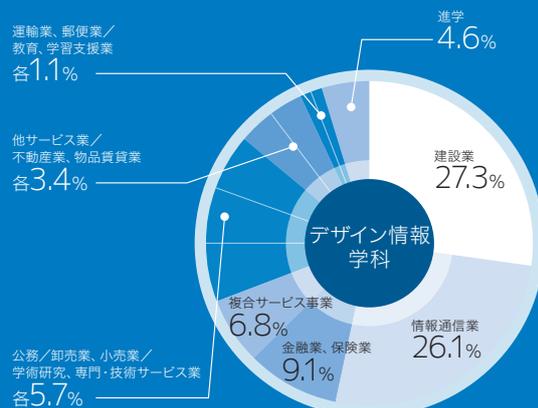
デザイン情報学科

就職先一例 (順不同)

(株)北洲 / 積水ハウス(株) / 東北ミサワホーム(株) / (株)NTTファシリティーズ東北 / (株)池下設計 / (株)四季工房 / (株)長谷工コーポレーション / (株)フジタ / 西松建設(株) / 住友林業緑化(株) / (株)日立ソリューションズ東日本 / (株)コスモネット / テクノ・マインド(株) / (株)富士通システムズ ウェブ テクノロジー / (株)七十七銀行 / (株)仙台銀行 / (株)日専連ライフサービス / (株)メンバーズ / カメイ(株) / イオン(株) / キヤノンマーケティングジャパン(株) / みやぎ生活協同組合 / 住友林業ホームテック(株) / 岩手県 / 仙台市 / 多賀城市 / 東京都特別区(杉並区) / 国家一般職(国土交通省 関東地方整備局) / 東日本旅客鉄道(株) / 三菱地所リアルエステートサービス(株)

進学先一例 (順不同)

宮城大学大学院 事業構想学研究所 / 首都大学東京 都市環境科学研究所 / 北海道大学大学院 文学研究科 / 明治大学大学院 理工学研究科



看護学類

事業プランニング学類

地域創生学類

価値創造デザイン学類

食資源開発学類

フードマネジメント学類

School of Food Industrial Sciences

食産業学群

食資源開発学類
フードマネジメント学類

定員
125名

「食産業」とは、食材生産から始まり、加工・流通を経て消費者の口に入るまでの全過程を対象とします。食産業学群では、各々の過程に関わる知識や技術を身につけることができます。作物、畜産や栄養、食品機能などに関連する自然科学系科目と、食料経済やマーケティング分野などの社会科学系科目を、バランスよく学びます。

宮城から東北へ。東北から世界へ。
食の可能性をどこまでも
拡大させる。



食資源開発学類

宮城県がもつあらゆる食資源の知見を学び、食産業のローカルな課題だけでなく、グローバルな問題解決に向けて多面的な方向からのアプローチを模索していきます。

フードマネジメント学類

食に関わる全般的な素地を身につけた上で、ビジネス的観点と科学的観点を組み合わせた、新たな切り口で食産業が抱える様々な問題の解決を目指していきます。

学群長からのメッセージ



西川 正純

Masazumi Nishikawa

食産業学群長

食産業学群は、日本ではじめて「食産業の全般を捉える」ことを理念に掲げ、2005年に開設しました。全般を捉えるとは、農畜水産物の「生産」から「加工」「流通」「サービス」に至る一連のプロセス全体を考えるとということです。よって本学群では、理系的要素と文系的要素をバランスよく学べる文理融合の教育を展開しています。我々は食産業学の先駆者であると自負する一方で、もっと先に進んでいかなくてはならないと身が引き締まる思いもしています。

先端を行くためのスローガンは「地域と世界を繋ぐ」人材の育成です。東京オリンピック・パラリンピック開催によるインバウンド対応も含め、食の安心・安全は世界基準で捉えなくてはなりません。そのため、グローバルGAP(食品安全、環境保全などに配慮した「持続的な生産活動」の実践)やHACCP(食品の安全衛生管理の仕組み)、さらにはハラールやコーシャ等の宗教食に関する教育は必須として力を入れていきます。一方、日本の少子高齢化に伴う労働力人口の減少は農畜水産業にも影響を及ぼしています。IoTやロボティクス、AIなどのICT技術やバイオサイエンス技術を活用した農畜水産物の生産、分子ガストロノミーを活用した新たな食品加工技術の開発などの研究にも力を入れていきたいと考えています。時代はグローバルに活躍できる人材を求めています。宮城、東北のみならず世界への貢献を目標に、共に成長していきましょう。

時代と社会が求めるのは、
グローバルに
活躍できる人材

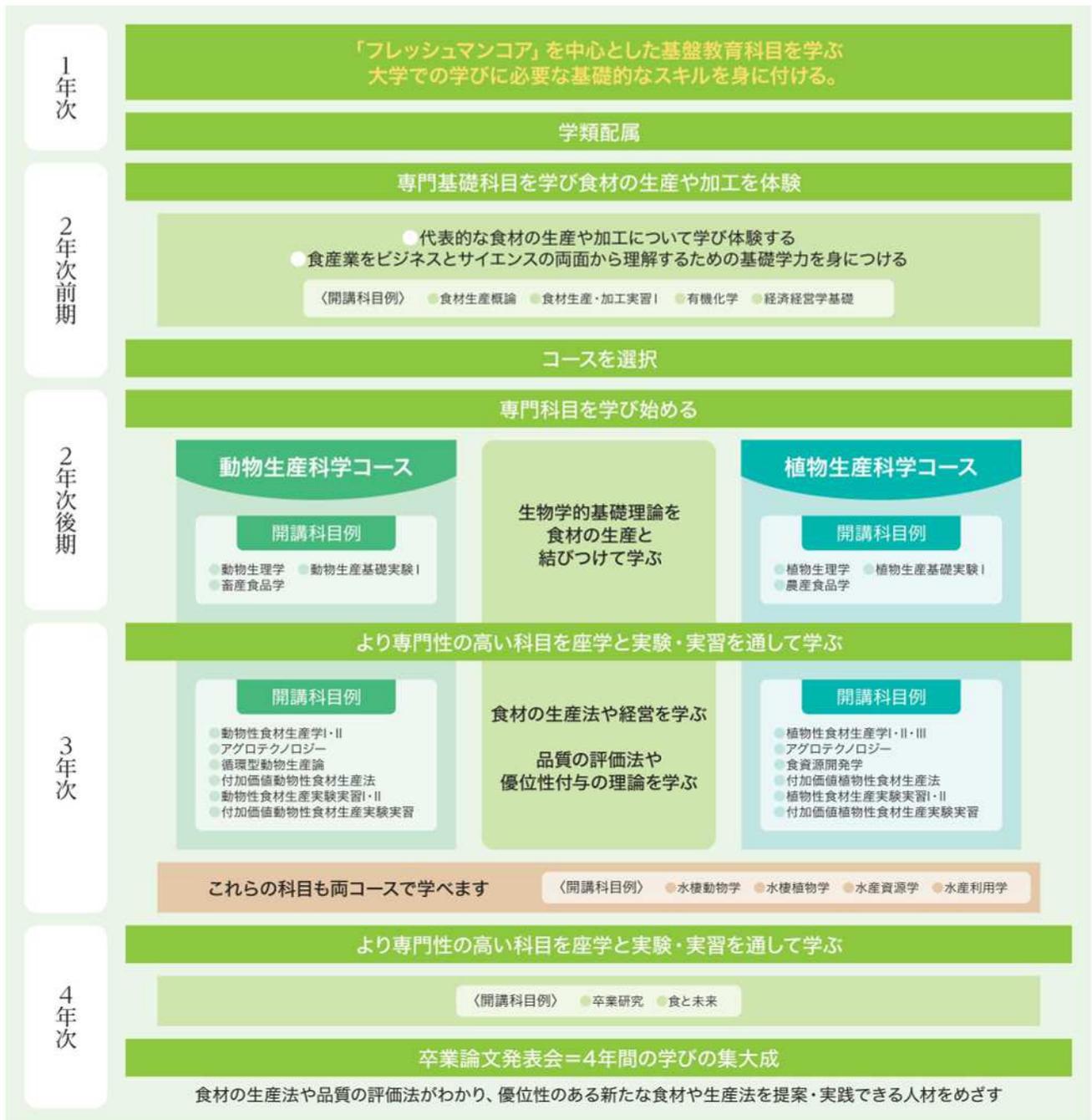


食産業学群

食資源開発学類

食材の生産・加工方法などの基本的な学修から始まり、より価値の高い食資源の開発について探っていきます。そこにビジネスの視点も交え、食資源を通じた実践的な社会との関わり方を学んでいきます。

食資源開発学類での4年間の学び



食資源開発学

あの食品のルーツは？食料の未来は？食資源の奥深さを学ぶ

「食資源開発学」は、様々な食資源を題材に、どのように発見・開発され、生産されてきたのか、それが現代の食生活にどのように関わっているのか、将来、どのような食資源が求められるかなどを幅広く学びます。

例えば、チョコレートの原料の砂糖とカカオについてみてみましょう。砂糖はサトウキビのほか、テンサイからも作られます。テンサイの歴史は18世紀からで、他の作物の歴史からみると新しく、糖度の高いものが選抜されてきました。またカカオは、種子を発酵して作られますが、発酵させないとあの独特の香りができません。このように原料それぞれに開発の

歴史があり、先人の知恵や工夫があって現在の有用な食資源となっています。

新しい食資源を開発するには多くの時間がかかります。遺伝解析による新しい知見が見いだされ、品種改良への応用も進んでいますが、一方で農業が環境に与える負荷や地球規模での気候変動への対応も重要になります。

これまでの食資源の開発の歴史を踏まえ、私たちの食生活を豊かにするにはこれからどのような食資源が必要なのかを考えていきます。



付加価値動物性食材生産実験実習

より美味しくさらに進んだ畜産物を生み出すにはどうするかを学ぶ

生産物に付加価値を付けてより良いものを生み出すのは日本の得意分野です。鶏肉や豚肉もエサの種類や与え方を工夫することでより美味しくすることができます。「エサで肉の味がなぜ変化するのか?」、「放牧すると肉質はどう変わるのか?」



さらに「卵や牛乳の味は変えられるのか?」など、畜産物の価値を高める方法やその評価法まで総合的な学習を進めていきます。

座学では付加価値を付けるための理論や、美味しさを科学的に評価する理論などを学びますが、並行して進められる実験実習の授業ではそれを実験や実習を通し

て体験し理解を深めます。3年次には畜産物の付加価値生産を実現している迫力ある現場も見学します。

多くの大学では「学問」の分野ごとの科目で構成されたカリキュラムとなっていますが、宮城大学では農畜産物の付加価値生産法など「食産業」の学際的な視点から「学問」がどのように応用されているか学ぶことができます。こうした学びは、将来、食産業はもちろん幅広い分野で活躍するために重要な「どう考えればよいか」のヒントとなるはずです。

Student Message

研究の機会に恵まれる喜び

主に農作物の生産を学んでいます。生産を学ぶうえでは、遺伝子を用いた実験などを通して、その農作物の特性を知ることが必要です。特性を把握し、どうすれば生産性が向上するのかというテーマに取り組んでいます。

今後はスイートソルガムなどをはじめとした資源作物の研究を進める予定です。資源作物はエネルギー源や製品材料にもなるので、代替エネルギーとして注目されています。大学では栽培試験や生長解析など研究の機会にも恵まれているので、楽しみながら資源作物の探究を進めていきたいです。

4年 阿部 有希さん
岩手県立一関第一高等学校出身



実習を通じて現場の視点を持つことの大切さに気づく

宮城大学では、食を俯瞰的に捉えることができるよう、講義だけでなく農場等での実習が充実しています。「動物生産実習」では、畜産を支える飼料工場の現場を体験しました。現場には、従業員の方々の休みなく働く姿がありました。食材生産に欠かすことのできない飼料について、品質の高いものを作り、届けることに並々ならぬ努力や思いを感じ、感銘を受けました。講義を受けているだけでは分かり得ない、現場の実態を知ることができました。

3年次を迎え、これからより専門的な学びの領域に入っていきますが、現場の視点を常に忘れずに持っていきたいと思います。

3年 保科 望実さん
宮城県白石高等学校出身



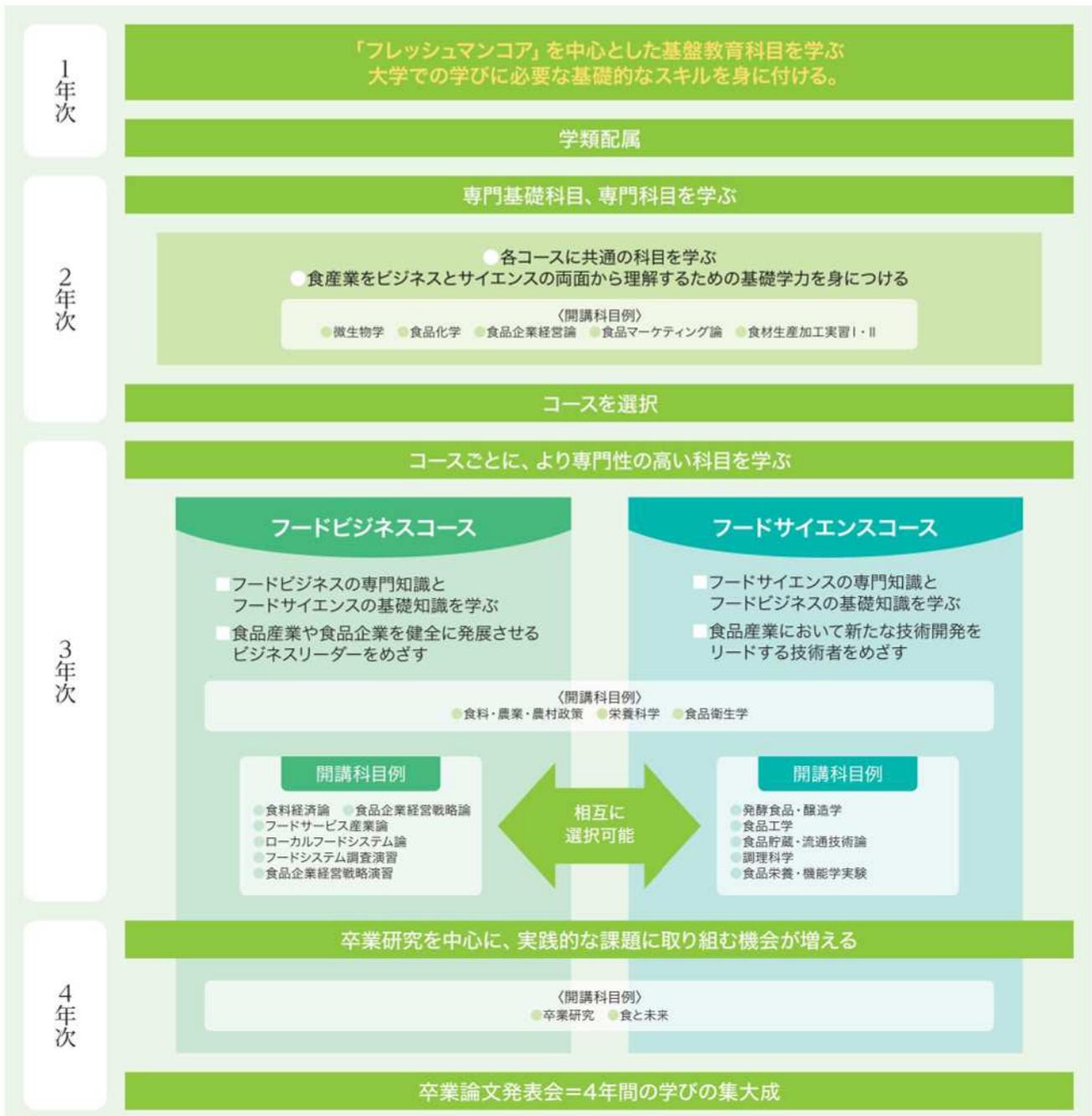


食産業学群

フードマネジメント学類

製造方法や流通の仕組み、より安全で優れた食品の
つくりかたなど、食産業の世界を広い視野で捉えていきます。
専門的な学びを通して、広大な食の世界を
より良くしていくための知見を育てていきます。

フードマネジメント学類での4年間の学び



食品化学

人間の生活や健康の根幹につながる、食に関わる学問に続く最初の学問

この講義では、食品を化学の視点から追求していきます。

私たちは食べ物を食べる時には「おいしいかどうか」「健康に良いかどうか」など、口にする前も後も様々な情報を得ています。味や香り、色、そして健康への影響はすべて化学成分によって決まります。例えば、「甘い化学成分」には、砂糖(ショ糖が主成分)やブドウ糖、あるいは人工甘味料など様々な種類があります。成分が異なれば甘味の強さや性質は変わのでしょうか。また、ダイエットに効果がある人口甘味料は本当にエネルギーにならないのでしょうか。

こうした疑問を解明するためには、成分の化学構造を明らかにして、その性質を知ることから始まります。「食品化学」では、成分の性質を調べ、効果的な加工方法や保存方法、劣化防止策を考えます。これらは、食品衛生学や食材加工実習、食品貯蔵・流通技術論など多くの講義に発展していきます。また、人体への影響を調べることで、その先の栄養学や食品機能学といった学びにもつながっていきます。このように「食品化学」は、非常に広範な食品学の世界の入り口の学問と言えるのです。



食品企業経営戦略演習

実践的な訓練として、演習内容を充実させています

食品企業経営戦略演習では全15回にわたって、実践的な訓練を行っていきます。

まず、最初の5回で財務諸表分析などを通して会社の数字の読み方を学びます。経営成績や財政状態を数字から読み解きつつ、具体的な指標やエビデンスとして



定量的な数値を用いながら、会社にとって何が良い状態で何が悪い状態なのかを判断する力を養います。その上で次の5回は、定性的な理論展開力を習得するため、組織体やリーダーシップの在り方などについて学びます。これらを踏まえた最後の5回で、対象として扱った企業が将来的に向かうべき方向を

見出していきます。もちろん、この段階では前々で学んだ定量と定性の両方のデータを分析したり、活用したりすることが前提となってきます。論理的で説得力のある戦略を立案するために、段階的かつ着実に必要な力を習得していくプログラムを組んでいます。

毎回異なる企業を扱うので、予習は大変かもしれませんが、講義(食品企業経営戦略論)で体系を学んだうえで、本演習を受けると、実践に応用する力が確実に身につきます。

Student Message

知識を実践に活かし、実践から知識を深める

食品に関わるフードビジネスについて学んでいます。水産品や畜産品、食物の特性などを中心に勉強しており、学年が上がるとつれて、より専門的な内容を学んでいます。1年次には野菜の栽培や牛や豚などの家畜の世話なども経験しました。そのおかげで、知識と実践をリンクさせて学びを深めていくことができたと感じています。

食産業学群の先生方は、フードビジネスの世界で活躍されている方が多く、実践的に最先端の知識と技術を分かりやすく指導して下さいます。非常に心強く、同時にとても刺激になっています。



3年 菅野 皓介さん
宮城県仙台西高等学校出身

文理融合の視点で「食」について分析する

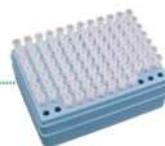
卒業論文は「地場産枝豆を活用した地域創生」をテーマにして取り組みましたが、理系分野の知識に加えて、文系分野の「食品企業経営戦略演習」での学びがとても役に立ちました。演習では、具体的な企業を想定し、財務諸表などから様々な分析を行いました。事業の根本的な課題を読み取り、論理的に解決策を考える力をつけることができたと感じています。

高校では文系だったので理系の勉強に不安を感じていましたが、学んでいく中でその不安はなくなりました。文理融合の学びで多角的に物事を考えられるようになり、深い学びができた実感しています。



2018年3月卒業 渡邊 円さん
新潟県立柏崎高等学校出身

学びへの誘い



身近な食への興味が、地球環境や未来へつながる学びへ

食料となる作物をどのように育てたら収量を高められるのか、作物の生長様式を解析し、多収できる栽培方法を開発するための研究をしています。現在取り組んでいるのは、アフリカ原産のスイートソルガムという作物。茎に多量の糖を貯めることから「糖用もろこし」とも言われ、海外では糖液を煮詰めてテーブルシロップなどとして使われています。砂糖の結晶になりにくいというマイナーな作物として扱われていましたが、シロップには糖だけでなくカルシウム、鉄などのミネラルも多く含まれ、健康に良いシロップとして関心が高まっています。

さらに、糖をアルコール発酵させると燃料用アルコールを生産できます。太白キャンパスで毎年栽培していますが、約4~5ヶ月で5m近くまで成長します。できたアルコールを燃やしても、大気中のCO₂は増えないのでクリーンエネルギーとしても注目されています。

これからスイートソルガムを使った宮城県の新しい食品やエネルギー資源の開発をしていきます。食産業学群では食材から始まる様々な学びの可能性が広がっています。食材や食に興味がある皆さん、好奇心をもって、一緒に新しい食材、資源を開発してみませんか。



食資源開発学類
教授 中村 聡

AIにはできない、食のクリエイティビティを追求しよう

高校生の皆さんは、生まれた時からスマートフォンがあります。そして現代社会はAIが急速に進化し、様々な分野で活躍する時代です。将来、AIが最も得意とするのは検索です。物事をパターン化して最大公約数を出すスピードに人間はかないませんが、AIは様々な知識や技術を組み合わせ、新しい価値を与え、クリエイティブする・創造することができます。これからの時代、われわれ人間が目指していくのは「AIにできないことを追求する」ことです。人間は生物である以上、文明が進んでも生きるためには食べなければなりません。生命体である食材を食べることは命の原点であると同時に、生命の営みそのものです。食材の新しい生産法や、さらに美味しくする方法、新たな機能性の付加など、進化する食材について科学的に学び、そこから「今、どんな価値が求められていて、未来の食材に創造すべき価値は何か」を考えて生み出す力を身につけて欲しいと思います。

その第一歩は、まずは食べること、食物に興味を持つこと。地域の食材の価値を高め、生産方法を工夫し、世界に誇れる食材を生み出していきたい。未来に向かって私たちが人間らしく食べてゆくにはどうすれば良いのか一緒に考えていきましょう。



食資源開発学類
教授 井上 達志

もっとおいしく、もっと高機能に。宮城の農林水産物の価値向上を目指して

私は「食品化学」の知見をベースにして、おいしさや健康（機能性）に関わる成分を調べ、必要であれば新たな分析技術を用いた数値化や、その成分を維持できる加工方法の開発などに取り組んでいます。このような技術が、地域の農林水産物の付加価値向上につながれば良いと思っています。他にも、宮城県が生産高全国1位となっているパプリカの健康機能性を高める加工方法、宮城県産のユズの香り優位性の数値化、仙台産枝豆のおいしさの評価方法の開発などにも携わっています。

食産業学群は文理融合を掲げており、自然科学系科目のほか社会科学系の講義もたくさん用意されています。社会科学系をイメージされた方には、自然科学系の科目は少しとっつきにくいかもしれませんが、大学で食品化学を学ぶ前に化学系の勉強も学習しますので、十分に理解できると思います。

「食」は広い分野に関連しています。理科学的知識と文系的知識の両方を持つエキスパートは、各業界でも重宝されます。ぜひ「化学」という言葉にひるまず、興味を持って入ってきてください。



フードマネジメント学類
准教授 毛利 哲

世の中を見る目をしっかり養う

専門課程で指導している「食品企業経営戦略論」では、社会科学などの文系分野と、食品科学などの理系分野の両視点を併せ持った文理融合の観点から、世の中の全体像を見つめる目を養います。

例えば将来、商品開発の仕事に就いた場合、食品に関する専門的な知識だけでは足りません。会社の目的や他部署の役割など、幅広く知っておく必要があります。世の中の全体像を把握する上では、文系・理系両方の知識を蓄えておくことが非常に重要です。

私は、物事の見方には、「ひとつに絞って集中する見方」と「ある物事を通して全体を見る見方」との2つの方法があると考えています。学生には、食品が好きだからといってそれに集中するだけでなく、食品という物事を通じて、原材料の調達の流れや食料需給のバランス、関連企業の活動やそこで働く人々の姿など、世の中のあらゆる物事を見

ていて欲しいと考えています。自分の裾野を広くして、世の中を見るツールのひとつとして食品というものをつえ、活用していきましょう。



フードマネジメント学類
教授 三石 誠司



「学びへの誘い」の
詳しい内容については
ウェブサイトにてご覧いただけます。

食産業学群のキャリア支援

食産業学群では、1~2年次で進路選択とキャリア形成に必要な情報に触れて自己を知り、3~4年次ではどのように自己を表現し、振る舞い、自己と企業のマッチングを図るか、実践的演習を交えながら食産業界で豊富な経験を持つ教授陣によって以下の項目を徹底指導します。

- | | | |
|--|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1 自分は何をしたいのか?
自己分析、職業選択と企業選択の指導 | 2 社会人スキルはどの程度?
履歴書添削とマナートレーニング | 3 企業の中に自分を置く?
企業インターンシップに全員が必修で参加 |
| 4 自分を説明できるか?
グループディスカッションと面接トレーニングの徹底演習 | 5 社会人に求められる基礎的思考と知識
SPI対策試験 | 6 企業と出会う
食産業界の企業説明会を開催 |

自分の将来は自分事! 早く気づく・常に磨く・心を強く

食産業学部の進路データ

※平成29年度実績

食材の生産から加工・流通・消費に至る“食の総合的な学び”を活かし、製造業や卸売業をはじめ、学術研究、専門・技術サービス業から金融業まで多様な業種に人材を輩出しています。

ファームビジネス学科

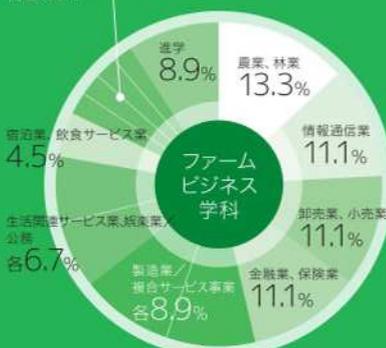
就職先一例 (順不同)

(株)西部開発農産/日本電気(株)/(株)アスコ/とちぎコープ生活協同組合/三菱食品(株)/ミニストップ(株)/(株)ヨークベニマル/(株)青森銀行/(株)北日本銀行/第一生命保険(株)/(株)第四銀行/農林中央金庫/JA全農北日本くみあい飼料(株)/(株)ウェルファムフーズ/カネリョウ海藻(株)/東芝機械(株)/あいち中央農業協同組合/全国農業協同組合連合会岩手県本部/全国酪農業協同組合連合会/(株)USEN/(株)エイチ・アイ・エス/海上自衛隊/伊達市/福島市/(株)北洲/(株)キューソー流通システム/(株)ケー・イー・シー

進学先一例 (順不同)

宮城大学大学院 食産業学研究科
東北大学大学院 医学系研究科

建設業/運輸業/郵便業/医療/福祉/
学術研究、専門・技術サービス業
各2.2%



フードビジネス学科

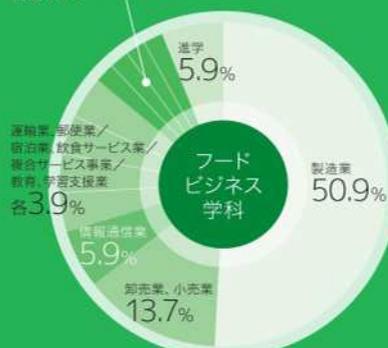
就職先一例 (順不同)

伊藤ハムテイリー(株)/(株)銀座コーシーコーナー/(株)サンクゼール/昭和産業(株)/スターゼン(株)/チロルチョコ(株)/トオカツフーズ(株)/常盤化工(株)/(株)プルボン/(株)プレシア/(株)宝幸/(株)武蔵野/(株)ユーハイム/穴花亭製菓(株)/サントリー/ピバレッジサービス(株)/昭産商事(株)/正栄食品工業(株)/日本酒類販売(株)/(株)バイタルネット/(株)ファミリーマート/(株)ヨークベニマル/東日本旅客鉄道(株)/(株)丸和運輸機関/みやぎ登米農業協同組合/(株)七十七銀行/東北発電工業(株)

進学先一例 (順不同)

宮城大学大学院 食産業学研究科
東北大学大学院 医学系研究科
広島大学大学院 生物圏科学研究科

農業、林業/金融業、保険業/
他サービス業/電気・ガス・熱供給・水道業
各2.0%



環境システム学科

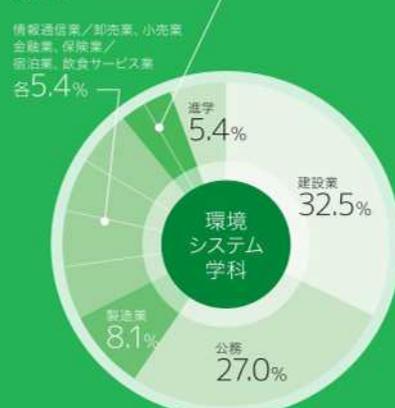
就職先一例 (順不同)

(株)エイト日本技術開発/(株)タカコ/(株)竹中土木/東洋緑化(株)/内外エンジニアリング(株)/東日本コンクリート(株)/(株)ピーエス三菱/(株)福山コンサルタント/前澤工業(株)/宮城県土地改良事業団体連合会/若築建設(株)/内閣府沖縄総合事務局農林水産部/農林水産省東北農政局/青森県/岩手県/静岡県/福島県/山形県/仙台市/福島市/東北ポール(株)/(株)マイナビ/(株)コーンズ・エージー/(株)藤崎/(株)七十七銀行/東日本旅客鉄道(株)/(株)栃木県畜産公社

進学先一例 (順不同)

東北大学大学院 環境科学研究科
東北大学大学院 生命科学研究所

運輸業、郵便業/他サービス業
2.7%



言語学類

専修プランニング学類

地域創生学類

価値創造デザイン学類

食資源開発学類

フードマネジメント学類



Explore. Engage. Grow Global.



海外留学や海外研修だけじゃない！
宮城大学のキャンパスでも異文化交流や
グローバル体験をしよう！

留学プログラム Study Abroad Program

01 リアル・アジア (ベトナム研修)

「リアル・アジア」は、将来グローバル人材となる自信を醸成し、語学や異文化に対する自律的な学びを促進するために、本学が独自に企画・運営しているベトナムでの短期研修プログラムです。教職員同行のもと、約2週間にわたり、現地協定校での文化交流、現地企業(日系企業ほか)の訪問、日系NPO主催の少数民族訪問などを通して、アジアの生の姿に触れ、草の根の交流などを体験します。このプログラムで平成24年度から、のべ160人以上の学生を派遣しています。プログラム参加にあたっては、渡航前の事前研修(現地の文化、異文化対応能力などの勉強)を十分に行うことで、研修を通して何を学びたいかをしっかり考え、準備を行います。また、研修中及び研修後は、自分たちが直接体験したベトナムを広く学内外に報告するべく、SNSによる情報発信や成果発表のイベントなどに取り組んでいます。

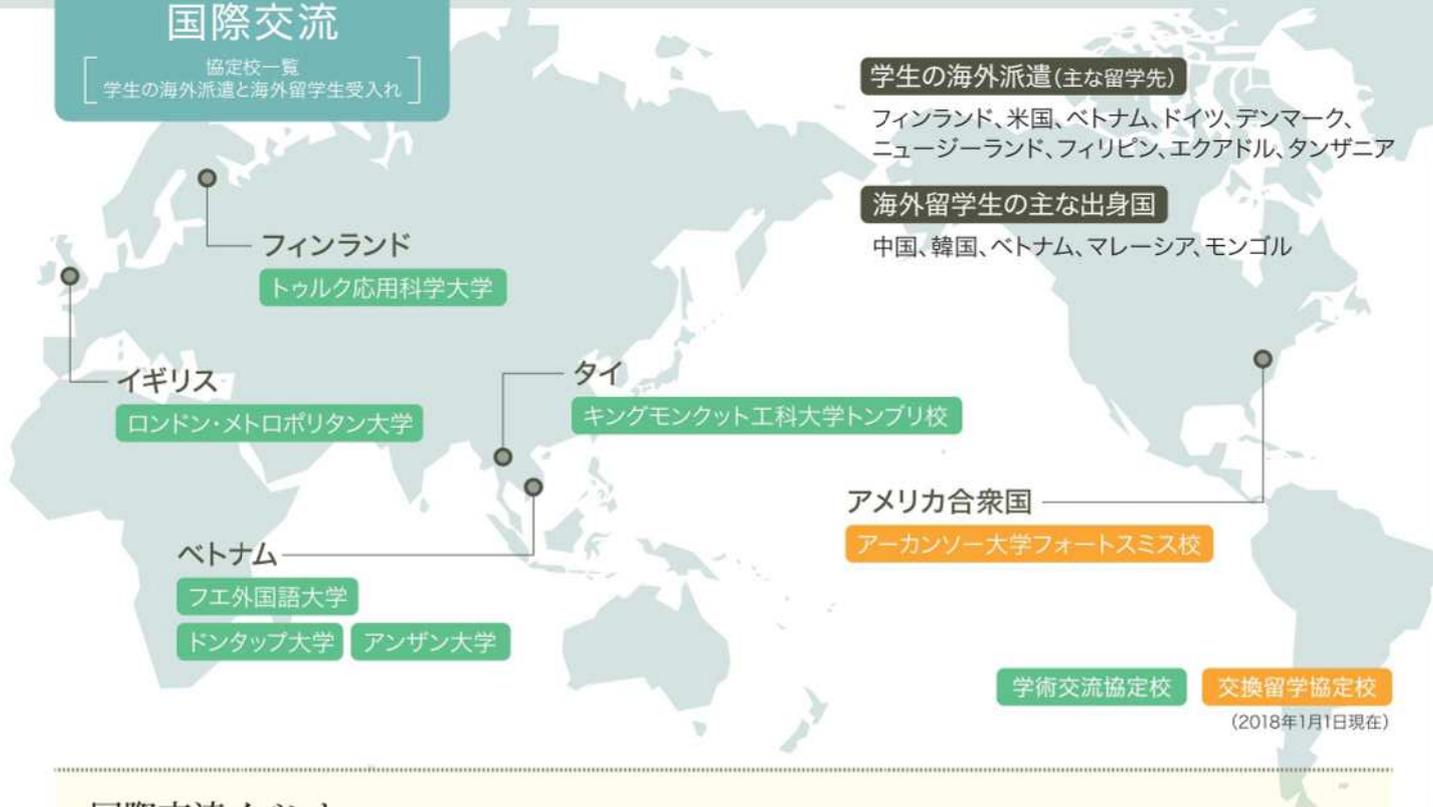
02 Miyagi University Overseas University Study Support Program (宮城大学海外交換留学支援プログラム)

本学協定校である米国・アーカンソー大学フォートスミス校やフィンランド・トゥルク応用科学大学との交換留学プログラムです。派遣生は原則として本学での専攻に沿った学位課程における教育プログラムを履修します。1学期もしくは1年の留学を通して、専攻分野での知見を深めるのはもちろん、英語によるコミュニケーションスキルを向上させ、派遣先国の文化や習慣、コミュニティーのあり方を実体験を通して理解し、グローバルスケールで活躍できる有能な人的資源として必要な能力を獲得することを目指します。

※留学プログラムへの参加には学内選考など参加条件を満たす必要があります。

国際交流

協定校一覧
学生の海外派遣と海外留学生受入れ



学生の海外派遣(主な留学先)

フィンランド、米国、ベトナム、ドイツ、デンマーク、
ニュージーランド、フィリピン、エクアドル、タンザニア

海外留学生の主な出身国

中国、韓国、ベトナム、マレーシア、モンゴル

国際交流イベント (2017年度実績)



- 5月 新入留学生歓迎会
- 6月 第1回Global Diversity Engagement Initiative (GDEI) ※実施
- 7月 第2回GDEI実施
- 9月 異文化理解交流促進プログラム
- 10月 外国人留学生日本語スピーチコンテスト
- 12月 第3回GDEI実施

※「Global Diversity Engagement Initiative」とは、世界の多様性を認め、自身と異なる文化や風習を受け入れることのできる学生の育成を目的とした宮城大学独自の文化交流プログラムです。

Student Message_01

フィンランドでの 実践活動を通して学んだ 「平等」の精神



私は高校時代から女性の社会進出に関心がありました。このテーマに本格的に取り組むため、「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」に応募し、男女平等先進国であるフィンランドに1年間留学しました。

フィンランドでは、協定校での学修の他に、地方自治体などを対象にインタビュー調査を行いました。この調査で、日本と同様に資源が豊富ではないフィンランドでは、国民一人ひとりの多様性を尊重し、教育や社会保障への投資を惜みず、そういった社会の体制や、そこから生まれる社会的風土が「平等」の精神を生み、女性が様々な分野で能力を発揮することができていることを知りました。

海外での生活を通して身につけた、考え方が違う人と認め合い、協力する力を社会に出てからもいかしていきたいです。

事業構想学部事業計画学科
2018年3月卒業

長峰 蒼

宮城県泉館山高等学校出身
留学期間：2015年8月～2016年7月



Student Message_02

デザインで人を幸せにする 製品づくりを目指して 日本に留学



中国で大学卒業後に仕事をしていたときに、工業デザインを知り、使いやすさとデザインの美しさから、日本の工業製品に魅力を感じました。「自分もこんな製品をデザインしたい」という思いが芽生え、日本への留学を決意しました。

宮城大学では、一年次の「基盤教育」の中で論文の書き方やデザイナーの仕事にも必要な教養を習得することができ、基礎的な力が身についたと思います。二年次からは専門科目の授業が始まります。その準備として、独学でモデリングソフトウェアについての勉強もしています。

将来は日本で就職したいと考えています。人を喜ばせるデザインや人を幸せにするデザインができるデザイナーを目指し、努力していきます。

事業構想学群価値創造デザイン学類2年

チョウ リンセイ

2017年4月入学



キャリアサポート CAREER SUPPORT



豊かな人間性と生涯にわたって学び続ける力、主体的に考える力を身につけるために、全学共通の基盤教育を活用しつつ、学群ごとに最適なキャリア教育、キャリア形成支援を実施します。

宮城大学では、学生の就職やキャリアについて、学生一人ひとりを大切にされた親身な対応を行っています。平成30年度からはキャリア・インターンシップセンターを新設し、学生のキャリア教育、インターンシップ支援を一元的に行い、将来の進路へ向けて学生が自分のキャリアを自ら形成できる充実したサポートを提供していきます。

キャリア教育

中長期的な視野に立ったキャリア教育

1年次後期から3年次後期にわたるキャリア科目の講義を通じて、学生自身がじっくりと自己のキャリア形成を考え、実行に移すための機会を提供します。

キャリア教育を通じた豊かな人間性の形成

キャリア科目でのグループワークやインターンシップなどを通じて、多くの人々や企業などと触れ合うことにより、主体性、実行力、課題発見力、創造力などを養います。

就職支援

キャリア開発室が中心となって、就職支援のための実践的な対策セミナーを開催するとともに、専門の指導員が親身になって学生の相談に乗ります。企業による会社説明会を随時開催するほか、OB・OGと意見交換する機会を設けており、学生は多面的に企業と接点を持つことができます。

本学卒業生の就職先へのアンケート調査（平成28年12月実施）の結果、9割以上の企業・病院等は、卒業生が「期待通りあるいはそれ以上に活躍している」と回答しています。企業・病院からのこうしたご理解が、全国でも有数の本学の就職率を支えています。

豊かな将来につながる確かなキャリア形成をサポート



※平成30年3月現在、構想中の内容です。変更になることがあります。

宮城大学が実施する多様なインターンシップ・プログラム

座学でのキャリア形成教育と連動し、体験型教育として多様なインターンシップ・プログラムを実施します。学内外での様々な「学び」と「経験」を通して社会人として必要な課題発見能力や問題解決能力、コミュニケーション能力などのジェネリックスキルの醸成を促進します。

2年次生には人間力の育成、仕事を知りたいことを目的としたプログラムを提供します。3年次生には、大学での学びの専門性を生かし、志望業界・職種を見極める能動的就職活動としてのインターンシップを提供します。早い時期から、学生が自己の職業適性や将来設計について考える機会を与え、主体的な職業選択や高い職業意識の育成を図っていきます。

キャリア開発室のサポート体制

キャリア開発室

学生の個性と適性を生かしたライフプランに沿ったキャリアアデバロップメントをサポートします。大和キャンパスと太白キャンパスの両方にあり、専門のキャリアカウンセラーが丁寧に対応しています。

- キャリア形成に関する情報提供
- 就職関連のガイダンス、セミナー、合同企業説明会
- 個別面談（相談、面接練習など）

キャリア開発指導

就職や就社を最終的な目標としていた時代は終焉を迎え、個人の学習歴、経験歴、仕事歴の総称として「キャリア」をいかに実り豊かなものにするかが問われる時代になりました。宮城大学は、学生一人ひとりのキャリアの開発に力を注ぎ、学群の特性に沿った進路支援を展開していきます。

学生支援

大学生活を送る中ではさまざまなことに悩んだり、心が折れそうになることがあるかもしれません。でも、そういうときこそ、頼りになる大人や尊敬し合える友人との、新しい出会いのチャンスでもあります。初めて経験するような悩みや心のわだかまりを、ひとりで解決しようとして抱え込まずに、いくつもある相談窓口を、勇気を出して訪ねてみましょう。

将来の進路が
不安だな…

人前で
発表するのが
苦手で…

あの授業が
難しくて
困っている…

スチューデント サービスセンター職員（事務局）

事務局の窓口で学生といちばん顔を合わせる職員です。授業料のことや奨学金のこと、アルバイト先や消費契約上のトラブルに巻き込まれて困ったりしたときなど、学外でのことも含めて相談したいことがあれば、訪ねてみてください。

また、授業に関することで困ったことがあれば、訪ねてみてください。履修に関する相談もできます。





図書館 (学術情報室)

図書館では、図書、雑誌、新聞、電子書籍や電子ジャーナル、データベースなど、様々な媒体の資料や、資料を探すための情報を提供しています。文献検索の方法やデータベースの使い方、電子書籍の閲覧の仕方など、学修・研究に応じた資料へのアプローチを一緒に考え、論文作成や研究課題に役立つ資料を収集するためのお手伝いをします。



保健室 (健康支援室)

学生生活を有意義に過ごすために、健康管理も大切なことのひとつです。保健室には養護教諭と看護師・保健師の資格を併せ持つ先生が常駐しており、心身の健康についての不安や悩みの相談窓口となっています。具合が悪くなった場合や怪我をした時の応急処置はもちろん、必要に応じて大学周辺の医療機関の紹介を行っています。

また、定期健康診断や健康相談も行っており、一人ひとりの学生が自分の健康に関心を持ち、責任を持って自己管理できるようにサポートしています。

クラス担任 (各学群・基盤教育群教員)

スタートアップ・セミナーやアカデミック・セミナーを担当する先生です。1年次生には最も身近な先生です。

スチューデント サービスセンター教員 (各学群・基盤教育群教員)

大学では、必修科目の他に自分の興味・関心に応じた科目を選択して時間割を組む必要があります。4年間の学びを見通して履修の計画を立てられるように、アドバイスを行います。

また、学生の出席状況や成績の状況を確認して、定期的に面談を行っています。

学生相談室 (健康支援室)

2つのキャンパスにそれぞれ臨床心理士の資格を持つカウンセラーがおり、メンタルヘルスや人間関係の悩みだけでなく、学業や進路について、サークルやアルバイトのことなど「よらず相談」をお受けします。また、学生についてのことであれば、ご家族からの相談にも対応します。どうぞお気軽にご相談ください。



キャリア開発室

キャリア開発室は、就職など進路に関する個別相談や就職支援のための実践的な対策セミナーを開催しています。
(※キャリアサポート体制については50ページで詳しく紹介しています。)



Taiwa
Campus

大和

キャンパス



静かな環境の中、開放的なキャンパスでじっくり学べます。
円形の本部棟は、まさに宮城大学のシンボルです。



1 図書館

本部棟2階にある図書館の蔵書数は約130,000冊。学びを支える雑誌や新聞などが整備されています。夜間も利用できる映像音響資料の閲覧室もあります。



大和キャンパスサークルなど一覧

サークル

硬式野球部
大和野球倶楽部
サッカーサークル
男子バスケットボール
女子バスケットボール
バレーボールサークル
硬式テニスサークル
TTTソフトテニスサークル
弓道サークル
バドミントンサークル
ランニングハイ (ジョギングサークル)
ハンドボールサークル
娘すずめ。
RHYTHM SQUARE
宮城大学サークルVKC
軽音楽サークル
ライブエンターテイメントサークル
.Mov
ARTSTANDARD.
光画部
映画部
演劇サークル「Arco iris」
アカベラサークルLEGO
宮城大学管弦楽団
べんたぶ
卓ゲー研究会
Accounting&Bookkeeping Circle (簿記サークル)

学生団体

仙台建築都市学生会議
宮城大学学生広報部
MYUポケモン好きクラブ
Table For Two Miyagi University
Study For Two宮城大学支部
decoru
キャンパスレンジャー
麻雀
AURORA
一般社団法人ReRoots 宮城大学支部
絆むすび隊

学生会

学生会執行部
サークル連絡会
出版委員会
新入生歓迎委員会
大学祭実行委員会
ガーデンキャンパス

運動系サークルや、
芸術やデザインに関する文化系サークル、
パフォーマンスや自己表現を磨くサークルなど
幅広く揃っています。



キャンパスレンジャー



娘すずめ。

CAMPUS MAP



2 本部棟

大学にとって、機能の要となる建物です。円形の外観と内部にある大階段が印象的です。3階に看護学群、4階に事業構想学群のフロアがあります。



3 講堂

776名分の座席数を持つ大ホールです。学内の式典や公開講座に利用されるほか、コンサートや文科系サークルの練習・発表の場としても利用できます。



4 カフェテリア

1階席、屋外テラス、2階席があります。総席数は260席で、昼休みには、出来たての食事を手頃な値段で食べることもできるので、多くの学生で賑わいます。



5 グラウンド

サッカーや野球ができるグラウンドに加え、テニスコートもあります。各サークルの主な活動の場として利用されるほか、地域の方々への貸出も行っていきます。



6 ナーシング・ラボ

看護の技術演習で使用される施設です。実際の病室や住居を想定した構造と設備が用意されており、看護現場の雰囲気再現しています。



7 製図室

事業構想学群の実習で使用される施設です。製図や模型製作が行える設備が整っており、様々なアイデアを形にすることができます。



8 CAD・プレゼン室

デザイン系の高性能PCが整った施設です。グラフィック、アーキテクチャー等様々なデザインをビジュアルで表現できます。



9 大学生協

教科書や参考書をはじめ、文房具や書籍、飲食物まで取り揃えています。大和キャンパス店では、デザイン演習の際に活用したい物品も扱っています。

Taihaku
Campus

太白

キャンパス



落ち着いて勉学に励める緑豊かなキャンパス。
「食」と「農」の未来を切り拓く人材が育ちます。



1 食品加工棟

主要な加工食品の製造機を揃えています。食味試験室や調理室もあります。実習・演習をはじめ、サークル活動にも利用されている施設です。



2 北・南研究棟

北研究棟は5階建ての建物で、実験系研究室や共同実験室があります。4階建ての南研究棟には社会科学系研究室や演習室があります。屋上には休憩室もあり、よい景色を眺めることができます。



5 ガラス温室

栽培系の実習や実験で使用する施設です。温室の中はあたたかく、適温がしっかり管理されており、複合環境制御をLAN経由で行う機能も備えています。



太白キャンパスサークルなど一覧

サークル

Interfere
ダブルダッチ
D.E.F
軟式野球サークル
バドミントンサークル
フットサルサークル
BOSTON CLUB
お茶娘倶楽部
音楽祭実行委員会
軽音楽サークル
自然研究部
Jazz&Rockサークル
大地くん
味覚研究会
みやぎ食の応援団

同好会

55 Bisco
スポチャン同好会
地域げんき隊
分子調理サークル Nuevo
MYUSIC!!
ヤギ研
B・K 56
Beijing

学生団体

@GREEN
Table For Two Miyagi University

学生会

学生会執行部
大学祭実行委員会
サークル連絡会
謝恩会実行委員会
Garden Campus

食や自然、地域に関わるサークルが豊富！
学びと直結しながら楽しく活動できます。
もちろん運動系や、音楽や文化を
深めるサークルもあります。



大地くん



分子調理サークル Nuevo

CAMPUS MAP



3 図書館

南研究棟の1階と2階にあります。座席数は92席で約73,000冊の蔵書があります。主に食に関わる専門書が収められています。映像資料の視聴もできます。



4 カフェテリア

2階を含めると計240席あります。鮮やかな色合いでゆったりとしたインテリアと、大窓のガラスから差し込む光とが明るい印象を演出する休憩スペースです。



6 多目的ホール

研究棟、講義棟、管理棟の中央に位置する円形のホールです。収容人数は132人で、公開講座や講演会などによく利用されています。



7 大学生協

太白キャンパス店では、参考書や飲食物のほか、実験にて使用する白衣を扱っていたり、学生が開発や製造に関わった商品を一部販売したりしています。



- | | |
|----------|----------|
| 1 放牧地 | 10 堆肥舎 |
| 2 牧草地 | 11 牛舎 |
| 3 牧草地 | 12 豚舎 |
| 4 管理・講義棟 | 13 家畜衛生舎 |
| 5 実験棟 | 14 収納作業室 |
| 6 農機具格納庫 | 15 果樹園 |
| 7 畑地 | 16 果樹園 |
| 8 ガラス室 | 17 果樹見本園 |
| 9 樹林地 | |

坪沼農場 Tsubonuma Farm

太白キャンパスから8kmほど離れた坪沼にある附属農場です。約31.4haあり、豊かな自然にも囲まれた、実習に最適な農場です。



管理・講義棟

坪沼農場の拠点です。授業や課外活動での利用のほか、合宿でも使われることがあります。



牛舎

乳牛と肉牛が飼育されており、搾乳や人工授精などの実習が行われています。



水田・畑地

米や野菜が栽培されています。収穫された作物は大学生協でも販売されます。

ライフスタイル 宮城大学生リアルライフ!

在学生の学生生活と1日の過ごし方を紹介します。

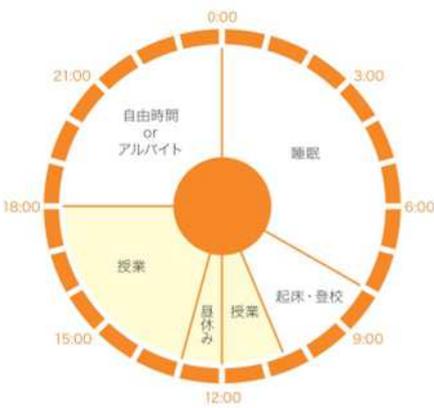


大和キャンパス/実家暮らしの場合

大学でのいろいろな人との出会いを大切に、将来は地域に貢献できる看護師を目指す!

オープンキャンパスに来たときに、まず、先輩方が優しかったことに感動しました。また、みなさんが目標を持って頑張っており、輝いているように見えました。ガイダンスで説明のあった教育内容にも感銘を受け、まるで一目惚れしたような感覚で入学を決めました。

1日のスケジュール



普段の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1限					
2限	疫学I	母性看護援助論I	栄養学		
3限	精神看護援助論I		看護実践論	地域看護学概論	
4限	治療看護論				小児看護援助論I
5限	家族看護論		疫学II		在宅看護援助論I

1ヶ月の家計簿



オープンキャンパスの運営に関わる

「キャンパスレンジャー」という学生団体に所属し、オープンキャンパスのガイド及び企画運営に携わりました。自分自身がオープンキャンパスで先輩方から感動をもらったので、今度は自分が後輩にそれを与える立場になりたいと思い、積極的に取り組みました。



看護学部 看護学科3年

鶴谷 奈菜

宮城県古川黎明高等学校出身

入学前 当時の夢

高校生のときに、家族が看護を受ける様子をよく見ていたこともあり、看護師になりたいと思うようになりました。また、特に地域包括ケアシステムなど、地域に根ざした看護の仕事がしたいと思い、地元・宮城での実践的教育が充実している宮城大学を志望しました。

1年次

授業数が多く、その内容も基礎的なものを中心なので、知識を頭に叩き込むようなつもりで勉強を頑張っていました。実習以外のときは一日中、大学にいらることがよくあり、とにかく基礎を固めることに注力しました。

2年次

専門性が高まり、学業にも楽しさを感じるようになったほか、1年次から始めていたスーパーでのアルバイトや学生団体活動(キャンパスレンジャー)を充実させました。大学祭実行委員会のメンバーにも加わりました。

3年次

3年次後期からは、いよいよ半年間という長期の実習が始まります。これまでの基礎実習での経験を活かし、専門的かつ実践的な学びをしっかりと深めていきたいと思っています。

4年次

国家試験や卒業研究、就職活動などがあります。4年間の大学生活の総仕上げとともに、人生の大きな節目として、すべての課題に全力で取り組んでいくつもりです。悔いなく卒業の日を迎えられるよう、頑張ります。

目標

たくさんの人と関わり、リードしながら、地域になくてはならない看護師になりたい!

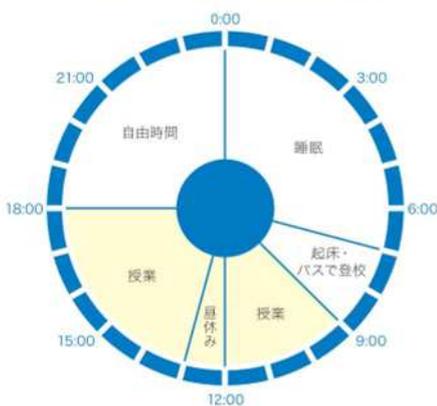


大和キャンパス/ひとり暮らしの場合

建築デザインに魅せられて学業に全力投球！ 演習課題に面白さを感じながら取り組む。

何かをデザインしたいという思いはありましたが、具体的には決まっていなかった。宮城大学はデザイン対象の選択肢の幅が広く、建築やインテリア、ウェブサイトやゲームなど、多岐にわたります。幅広く学び、興味が明確になったおかげで、1年目で建築デザインを学ぶという目標ができました。

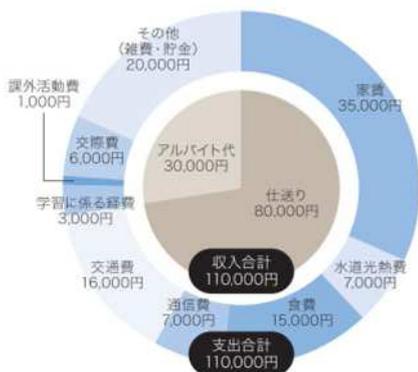
1日のスケジュール



普段の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1限	構造デザイン		インテリアデザイン		
2限	構造デザイン	建築企画	構造力学I	社会と経済	
3限	現代社会の諸相	施設設計製図A	キャリア開発C		
4限		施設設計製図A	ウェブデザイン	感性情報処理	
5限	韓国語	サステナブルデザイン		建築法規	

1ヶ月の家計簿



演習課題でしっかり個性を表現できるように

演習課題に全力で取り組みました。私は考えることが好きで全く苦にならないので、講義で得た知識に、自分の個性を付加しながら表現する作業は本当に面白く、楽しいです。頭で考えて、PCで図面を描いたり、建築模型を製作したりするのですが、没頭するあまり時間の経過を忘れることがよくあります。心の底から楽しいと思えることに出会えて、幸せです。



事業構想学部
デザイン情報学科3年

岩網 知弘
私立鶴岡東高等学校出身

入学前 当時の夢

もともとデザインに興味がありました。ただし、入学前の時点ではその対象が決まっていなかったため、自分は「何を」デザインしたいのかを見つけたいと思ったことが、宮城大学への入学動機になります。また、当時流行していたゲームの影響から、建築への興味も始めていました。

1年次

講義・演習を通し、自分がデザインしたいと思う対象を探しました。プログラミングやグラフィックなどの中から、建築を選びました。また、このとき「キャンパスレンジャー」という学生団体にも加わっています。

2年次

「挑戦」をテーマに、専門性が高まってくる講義に臨んだり、設計課題に取り組みました。東京へさまざまな建築物を見る一人旅に出かけたり、設計事務所インターンシップに行ったりもしました。

3年次

後期からは研究室に所属し、専攻をさらに絞っていきます。それまでに、今一度「自分にとっての建築とは何か」という原点を固めようと思っています。先生や仲間など、研究室での新たな人との出会いも楽しみです。

4年次

卒業に向け、卒業制作やそれに伴う展示会があります。4年間の学びの成果を十分に発揮できるよう、成長した姿を示せるよう、頑張るつもりです。同時に、本格化する就職活動にも全力で取り組んでいきます。

目標

地域の資源を活かした建築設計によって、地域貢献を果たしたい！



太白キャンパス/ひとり暮らしの場合

目標に向かって積極的に、前向きに！ 学業とサークル活動、アルバイトに打ち込む！

オープンキャンパスに来たとき、先生方がご自身の研究内容を楽しそうに話す姿や、先輩方の親しみやすさに魅力を感じました。6次産業化への興味があったこともあり、マーケティングや流通、サービスまで幅広く学べる方針も魅力的で、迷わず入学を志望しました。

1日のスケジュール



普段の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1限	農業気象学	バイオマス利用論			
2限	環境保全型農業論	昆虫管理学		栄養学	
3限		キャリア開発II		畜産食品学	
4限					園芸・作物実験実習II
5限					園芸・作物実験実習II

1ヶ月の家計簿



興味のある分野の現場を体験

6次産業化を推進するトマト農場で、インターンシップを経験しました。トマトの栽培・加工について教わったほか、ラベルの貼付作業等もお手伝いしました。もともと興味があった6次産業化の概念について、頭では理解していたつもりでしたが、実際に現場に出てみて初めて分かることも多く、とても勉強になりました。貴重な経験ができたと思います。



食産業学部
ファームビジネス学科4年

鈴木 野々香
青森県立青森北高等学校出身

入学前 当時の夢

入学前から農林水産業の6次産業化に興味がありました。大好きな地元・青森には、県内外問わず、まだまだ認知されていない特産物があります。例えば、カシスは全国一の生産量を誇りますが、それを知っている人は少ないと思います。現在進行形で、食の視点から青森の魅力をPRすることが将来の目標です。

1年次

長時間の講義に慣れることで精一杯でした。予習復習やテストも高校時代と比べて増えたので、勉強している時間は長かったと思います。ダンスやバスケットボールのサークル、大学祭実行委員会にも加わりました。

2年次

大学生活に慣れ始めてきたので、アルバイトをするようになりました。はじめて接客業を経験しましたが、特にお客様からのクレーム対応に難しさを感じました。社会で働くことの厳しさを教わったように思います。

3年次

ファームビジネス学科では研究室が学力に応じて仮決定されるため、希望のゼミに入れるように勉強を頑張りました。そのうえで希望が叶ったときの嬉しさは忘れられません。就職活動の準備も本格的に始めました。

4年次

4年次を迎えると、就職活動が本格化していきます。自分をしっかり持って、自分を信じて臨みたいと思います。企業との縁を大切にしながら、楽しく前向きに取り組んでいきます。

目標

食の基盤を学んだ経験を活かし、食品企業で販促の仕事がしたい！

Learning Commons

「ラーニング・コモンズ」の紹介

新しい
オープンスペース

ラーニング・コモンズとは？

学生が、他の学生や教員と交流しながら共に学ぶことができる空間です。
大学での学びは、講義室での授業だけではありません。授業以外での学びや交流が、大学生活をより豊かなものしてくれます。
宮城大学では、その学びや交流を後押しするため、次の4つのスペースを新たに整備します。

01_スチューデントコモンズ [平成30年4月~]

02_グローバルコモンズ [平成30年4月~]

03_データ&メディアコモンズ [平成30年後半~]

04_ディスカバリーコモンズ [平成30年後半~]

このうち、この4月から利用できる2つのスペースをご紹介します！

Café×Study=使い方無限大！

スチューデントコモンズ

『授業でやったグループワーク、授業の後もう少し話し合いたい…』
『大学祭のイベント、どうしよう??みんなと相談したいんだけど…』
そんなあなたのための、個人学修や学生同士のコミュニケーションの場で、ホワイトボードなどを使ってグループでの議論などもできます。カフェのような空間で、飲み物、食べ物を片手に自分のやりたいことをとことんやってみよう！



大学内でワクワク異文化体験！

グローバルコモンズ

留学生やこれから留学したい学生、語学をもっと学びたい!という学生のための、異文化交流や授業外での語学トレーニングなどを行うことができるスペースです。

ここで、留学に向けた準備をしたり、異文化交流をテーマにしたイベントに参加したりして、大学にいながグローバルな体験をすることができます。

イベントは随時開催されます。参加は自由ですので、ここを利用してできるだけたくさんの多文化経験を積み重ね、見聞を広げてください！

キャンパスカレンダー

平成29年度 宮城大学入学式



期待と決意を胸に抱いた新入生たちが集い、大学生としての第一歩を踏み出す日です。平成29年度は大和キャンパス講堂で入学式を開催しました。

入学式



入学した新入生がひとつのテーマを通して交流を深める日です。平成30年度は、ブラインドサッカーの体験や学びを通じて、他者への思いやりを学生が学びました。

コンボケーション・デイ

● 開学記念日

● 夏季休業

4

5

6

7

8

9

- 入学式
- オリエンテーション
- 在学生ガイダンス
- 健康診断
- 前期授業開始
- コンボケーション・デイ

- オープンキャンパス
- 前期試験

- コンボケーション・デイ
- 後期授業開始

オープンキャンパス

宮城大学での学びについて知るガイダンスや模擬講義のほか、学生による企画、入試関係のプログラムなど、内容が盛りだくさん。パンフレットやウェブサイトだけでは分からない宮城大学の魅力を体感してください。



さまざまなイベントを通して、
学生生活をのぞいてみよう



2日間にわたって開催され、著名人による講演や特設ステージで行われるライブ・パフォーマンスなど毎年大盛況です。多くの高校生の皆さんにもご来場いただいておりますので、ぜひお気軽に遊びに来てください。

大学祭

● 大学祭

● 後期試験

● 春季休業

10

11

12

1

2

3

● 冬季休業

● 卒業式

卒業式

両キャンパスの学生が大和キャンパス講堂に集まり、門出を祝います。学生の晴れ晴れとした顔が印象的な日です。学長賞などの表彰も行われます。



学群・学類での学び

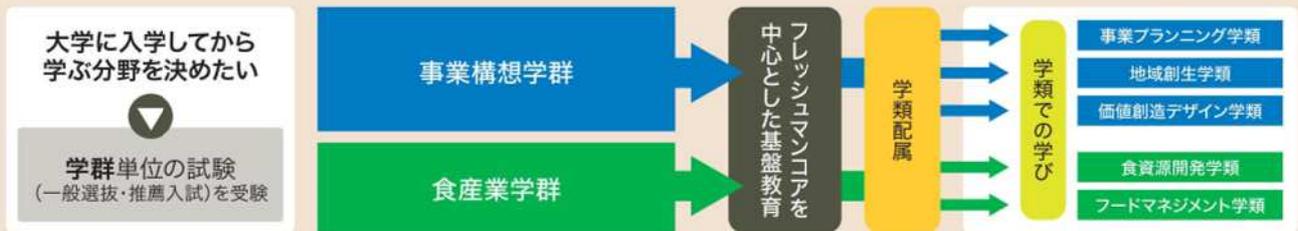
宮城大学では、平成29年度入学者より、学群・学類制による新たな教育を展開しています。このことにより、学類の垣根を越えてバリエーション豊かな専門教育が受けられるようになりました。

また、入学者の募集単位も「学群単位」「学類単位」の2つを設定しています。一般選抜と推薦入試は、「学群単位」の募集となります

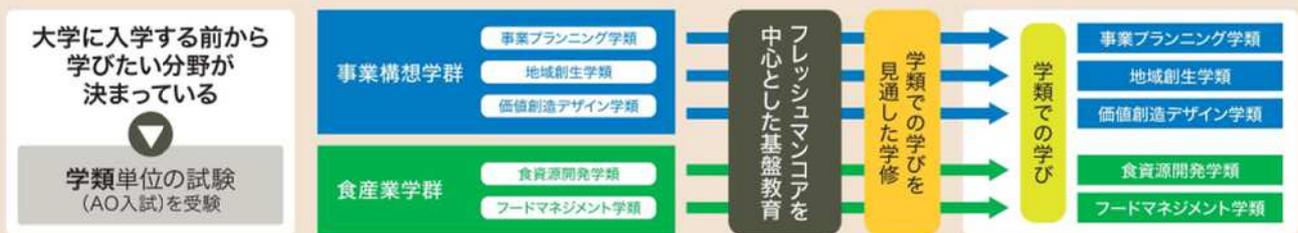
ので、事業構想学群と食産業学群の学生は、入学後1年間をかけてじっくりと自らが進む専門分野(学類)を選択し、2年次の学類配属へと進むことができます。(看護学群は、学類が1つであるため、全ての入試区分で看護学類に配属されます。)

事業構想学群・食産業学群の場合

① 大学に入学してから学ぶ分野を決めたい方は……



② 学びたい分野が決まっている方は……



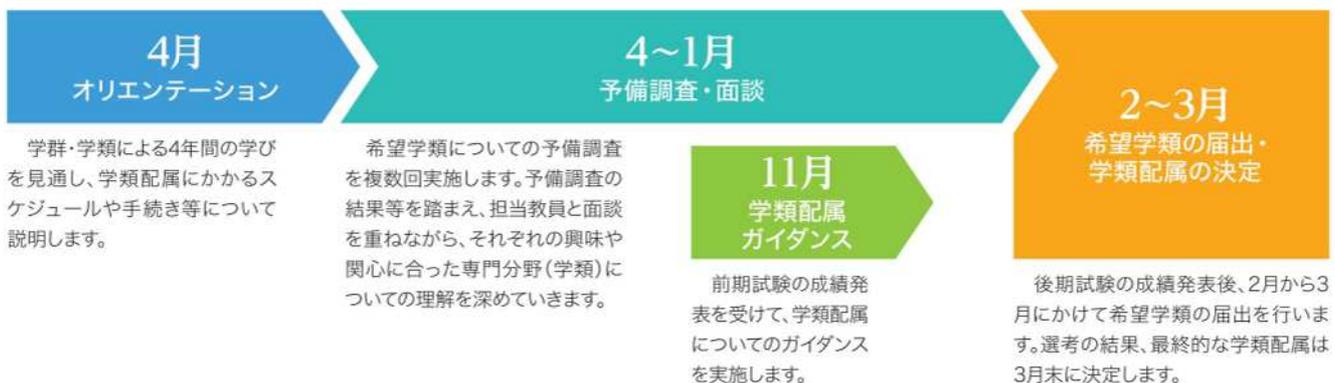
※AO入試は学類単位で実施されます。2年次からの学びを見通し、1年次から学修に取り組むことができます。

看護学群の場合



学類配属について

所属学群ごとに、学生一人ひとりが自分としっかり向き合いながら、担当教員と一緒に1年かけて考えていきます。1年次の学修成果(1年次の成績や希望学類に関するレポート、面接等を予定)による選考を行い、学類配属を決定していきます。



※スケジュール等は変更になる場合があります。

入試制度

1 | 大学に入学してから学ぶ分野を決めたい方へ

1年次修了までに、2年次からの自分の進む道(学類)を選択します。

※看護学群は1学類のため、全員が看護学類で学ぶこととなります。

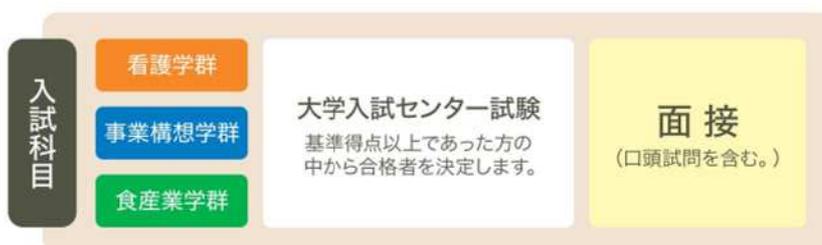
一般選抜 学群単位

大学入試センター試験と、個別学力検査等の成績を基本として、調査書等の内容を総合的に判定して合格者を決定します。



推薦入試 学群単位

大学入試センター試験と、面接(口頭試問を含む。)を課します。大学入試センター試験については一定の基準得点を設定し、基準得点以上であった方の中から、調査書等の出願書類の内容と面接(口頭試問を含む。)の成績を総合的に判定して合格者を決定します。



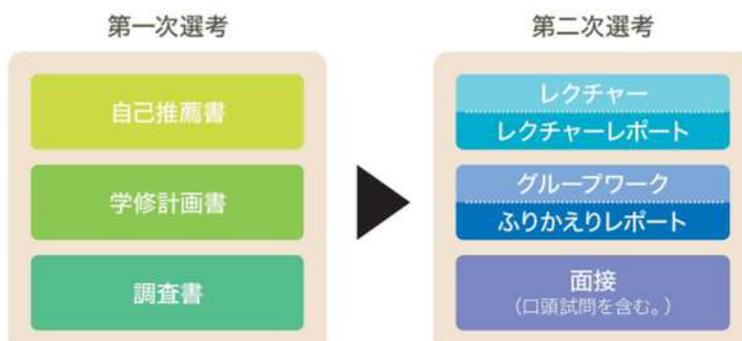
2 | 学びたい分野が決まっている方へ

課題発見・解決能力を評価します。

AO入試 学類単位

高校等での探究的活動により培った課題発見・解決能力や、学類での学修に対する意欲・資質などを評価する、自己推薦型の入試です。

学類単位で選抜を行い、原則2年次からは合格した学類に配属となります。



これまでの学習成果や自身の強みなどを記載する自己推薦書、大学での学びに対する計画、意欲などを記載する学修計画書などの提出書類による第一次選考を行います。

第一次選考に合格した方に対し、第二次選考として2日間にわたる試験を行います。この試験を通して「課題を設定し、見直し、解決し、ふりかえる力」を評価し、最終合格者を決定します。

※以上の試験のほか、本学指定の大学入試センター試験の科目を受験し、自己採点の結果を提出いただく必要があります。

このほか、帰国子女・社会人・外国人留学生特別選抜を実施します。試験科目など、詳しくは入学者選抜要項、各試験区分の学生募集要項でご確認ください。

		入学定員	募集人員						
			学群単位での入試					学類単位での入試	
			一般選抜		特別選抜			特別選抜	
			前期日程	後期日程	推薦入試	帰国子女	社会人	AO入試	外国人留学生
看護学群	看護学類	95	48	10	24	若干名	若干名	8	5
事業構想学群	事業プランニング学類	200	100	20	40	若干名	若干名	8	5
	地域創生学類							8	5
	価値創造デザイン学類							8	6
食産業学群	食資源開発学類	125	62	12	28	若干名	若干名	8	3
	フードマネジメント学類							8	4
計		420	210	42	92	若干名	若干名	48	28

※「一般選抜」の募集人員には「帰国子女」「社会人」の若干名を含みます。

学生数

※平成30年4月1日現在

学群	学類	1学年	2学年	学部	学科	3学年	4学年	学群・学部	全学
看護学群		97	96	看護学部		112	93	看護	398
	看護学類	97	96		看護学科	112	93		
事業構想学群		210	207	事業構想学部		222	219	事業構想	858
	事業プランニング学類	12	64		事業計画学科	113	112		
	地域創生学類	10	61		デザイン情報学科	109	107		
	価値創造デザイン学類	9	82						
	学類未配属者	179							
食産業学群		129	125	食産業学部		136	136	食産業	526
	食資源開発学類	9	62		ファームビジネス学科	46	48		
	フードマネジメント学類	9	63		フードビジネス学科	54	56		
	学類未配属者	111			環境システム学科	36	32		
学群合計		436	428	学部合計		470	448	全学合計	1,782

平成30年度出身校所在地別志願者数・入学者数

※編入学分を含みません

出身校所在地	看護学群						事業構想学群						食産業学群					
	志願者数			入学者数			志願者数			入学者数			志願者数			入学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
北海道	0	2	2	0	2	2	2	0	2	0	0	0	4	4	8	1	1	2
青森県	5	27	32	0	7	7	10	34	44	2	9	11	8	18	26	2	6	8
岩手県	2	37	39	1	11	12	10	25	35	2	9	11	2	23	25	0	9	9
宮城県	15	212	227	3	48	51	324	345	669	82	73	155	122	178	300	20	45	65
秋田県	1	15	16	0	2	2	10	23	33	1	4	5	2	13	15	1	4	5
山形県	1	26	27	0	7	7	9	27	36	2	8	10	6	9	15	0	3	3
福島県	1	36	37	0	7	7	13	20	33	3	4	7	12	19	31	2	4	6
東北6県	25	353	378	4	82	86	376	474	850	92	107	199	152	260	412	25	71	96
関東	2	23	25	0	3	3	8	2	10	3	1	4	21	45	66	0	9	9
中部	3	11	14	1	2	3	1	8	9	0	2	2	19	32	51	7	7	14
近畿	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	7	1	0	1
中国・四国	0	1	1	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	3	3	0	2	2
九州・沖縄	0	2	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0
その他	0	11	11	0	2	2	11	14	25	2	2	4	3	5	8	1	0	1
合計	30	406	436	5	91	96	399	502	901	97	112	209	205	352	557	35	90	125

入学金・学費・奨学金

学費・入学時における学生諸経費（平成30年度実績）

入学金	県内出身者 県外出身者	282,000円 564,000円
入学時学生諸経費	看護学群 事業構想学群 食産業学群	81,594円 52,660円 52,660円
授業料	年額 納付時期	535,800円 (前期・後期、半額ずつ納付) [前期] 4月30日 (平成30年度は5月31日) [後期] 10月31日

授業料の減免・分割納付・納付猶予

減免	一定基準以上の成績及び経済的要件を満たす場合、申請により、全額又は半額免除される場合があります。
分割納付	経済的理由で授業料の一括納付が困難な場合、申請により、分割納付を認める場合があります。
納付猶予	経済的理由で授業料を指定納期までに納付することが困難な場合、申請により、納付猶予を認める場合があります。

奨学金制度（独立行政法人日本学生支援機構奨学金）

種類	貸与月額（平成29年度）
第一種 (無利子償還)	自宅 20,000円 / 30,000円 / 45,000円 自宅外 20,000円 / 30,000円 40,000円 / 51,000円
第二種 (有利子償還)	20,000円 / 30,000円 / 40,000円 50,000円 / 60,000円 / 70,000円 80,000円 / 90,000円 / 100,000円 110,000円 / 120,000円から選択

※貸与期間：採用年度から標準修業年まで。
※高校等での予約採用以外は毎年4月に説明会を行い奨学生を募集します。

その他の奨学金

各種団体等の奨学金は、毎年4月に学内掲示板等でお知らせします。

OPEN CAMPUS 2018

オープンキャンパスのご案内

宮城大学への入学を考えている高校生や、そのご家族のために、大学の施設や講義内容を体験できるオープンキャンパスを開催します。

事業構想学群

看護学群

Taiwa Campus
大和キャンパス
7.16 MON

食産業学群

Taihaku Campus
太白キャンパス
7.22 SUN

両キャンパス共に事前予約は不要*

※20名以上または貸切バスで来場をご予定の場合は、開催日の1週間前までにお問い合わせください。

<http://www.myu.ac.jp/site/oc/>

最新情報はウェブサイトでお知らせします。



ACCESS

宮城大学へのアクセス

大和キャンパス Taiwa Campus

- 仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約15分、「泉中央駅」下車。バスに乗り換え
- バス利用
「泉中央駅」バスプール3番又は6番から、宮城交通バス「泉パークタウン」行き(宮城大学経由)で約30分~35分、「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車
「仙台駅前」バスプール2番から、宮城交通バス「宮城大学」行きバスで約50分、「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車

太白キャンパス Taihaku Campus

- 仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約10分、「長町南駅」下車。バスに乗り換え
- バス利用
「長町南駅・太白区役所前」バスプール4番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約20分、「宮城大学食産業学部前」下車
「仙台駅前」バスプール7番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約40分、「宮城大学食産業学部前」下車



大和キャンパス

大学本部／看護学群／事業構想学群
大学院看護学研究科／大学院事業構想学研究科

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
■宮城大学事務局(大学全般)
Tel 022-377-8205(代表) Fax 022-377-8282

太白キャンパス

食産業学群
大学院食産業学研究科

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号
■宮城大学事務局(太白事務室)
Tel 022-245-2211(代表) Fax 022-245-1534



公立大学法人
宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

